

令和3年版
消 防 年 報

小野市消防本部
令和4年刊行

はじめに

この年報は、令和3年中における小野市消防本部の主な消防事情について収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の必要な資料については、当該表に年月日を記載いたしました。

令和4年7月

小野市消防本部

消防訓

自治体消防制度四十周年記念
昭和六十三年三月七日制定
小野市消防本部

我々消防人は

ゆたかな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

目 次

□ 小野市の概要	1
□ 一目統計	2
□ 消防機関配置図	3
□ 消防庁舎の概要	4
□ 小野消防の現況	4
□ 小野市の平均	4
□ 小野市消防本部の組織図	5
□ 小野消防の推移	6

【総 務】

□ 予算の内訳・前年度比較	7
□ 消防職員の表彰等状況	7
□ 消防職員年齢別状況	8
□ 消防職員の学校教育状況	9
□ 消防職員の配置状況	10
□ 消防力の現勢	10
□ 消防職員の免許・資格所有状況	11
□ 令和3年度消防施設整備事業	12

【予 防】

□ 消防用設備等設置状況	13
□ 防火対象物の状況	14
□ 月別・地区別建築同意状況	15
□ 用途・工事別建築同意状況	15

□ 各種届出指示状況	16
□ 一般家庭・高齢者(独居)家庭の防火診断実施状況	16
□ 中高層建築物等状況	16
□ 危険物施設状況	17
□ 許可・完成検査・承認数状況	17
□ 危険物規制事務処理状況	18
□ 危険物施設・少量危険物施設立入検査状況	18
□ 過去5年間の危険物施設数(完成検査済)状況	19
□ 手数料収入額状況	19
□ 県委議事務処理状況	19
□ 防火防災組織の状況	20

【消 防】

□ 令和3年火災概要	21
□ 火災状況前年比較	22
□ 火災発生状況10年比較	23
□ 月別火災発生状況	24
□ 時間別・曜日別火災発生状況	25
□ 月別・曜日別建物火災発生状況	26
□ 建物用途別火災発生状況	26
□ 出火原因別発生状況	27
□ 損害額発生状況	28
□ 地区別火災発生状況	29
□ 地区別火災発生状況全体図	30

□ 消防水利状況	31
□ 過去10年間の降雨量	31
□ 消防機械器具保有状況	32～36
□ 消防車両一覧表	37
□ 消防署出動状況	38
□ 小野市火災予防条例に関する届け出状況	38

【救 急】

□ 令和3年救急概要	39
□ 救急出場件数・地区別救急概要・月別救急件数比較	39
□ 救急概要・搬送人員状況	40
□ 年齢・性別搬送人員比較	41
□ 救急所要時間状況	42
□ 事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数	43
□ 急病件数に対する過去5年間の比較	43
□ 医療機関平均交渉回数・平均交渉時間受入不可理由	43

【救 助】

□ 令和3年救助概要	44
□ 救助状況前年比較	45
□ 月別救助発生状況	45
□ 時間別救助発生状況	46
□ 曜日別救助発生状況	46
□ 地区別救助発生状況	47
□ 地区別救助発生状況全体図	48

【指 令】

□ 消防通信系統図	49
□ 119番通報状況	50
□ 119番による口頭指導実施状況	51
□ 情報テレホンサービス利用件数	51
□ 消防無線一覧	52
□ 気象状況	53

【消防団】

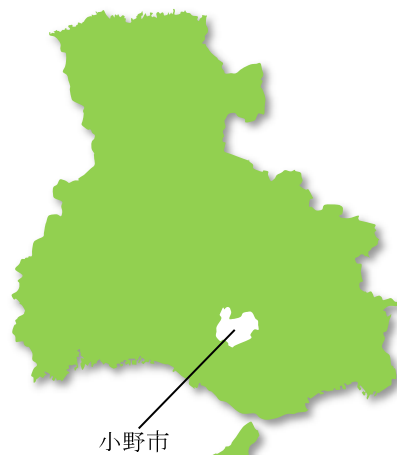
□ 消防団組織	54
□ 令和3年度消防団行事	55
□ 消防力の現況	55
□ 消防団員出動状況	56
□ 消防団員の在職年数状況	56
□ 年齢別消防団員数	57
□ 消防団員等公務災害発生状況	58
□ 消防団表彰状況	58
□ 消防自動車の現況	59

□ 小野市消防本部の沿革	60～65
□ 消防応援協定の締結状況	66
□ 防火・林野庁・危険物標語・小野市防火ポスター	67

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、北緯34度50分の地点にあります。市の面積は92.94km²で、東西に11.8km、南北に11.2kmの広がりを持ち、東と北は加東市、西は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。

小野市の大部分は平地で、西南端の一部に山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候です。年間降水量は、平均約1,000mmで全国的にみても少ない値となっています。



小野市は、古来から加古川中流域の文化の中心部として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。

この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街としての小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。

一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

当市消防本部は、市街地を主に管轄する本署、市南部の工業団地や山陽道を主に管轄する南分署に加え、平成30年4月に念願の第3の消防拠点である「消防署北分署」を開設しました。北分署は下東条地区一帯、河合地区など、市北部を管轄し、これにより救急車が市内全域、10分以内の現場到着の実現、迅速な救急活動が可能となりました。さらに、令和2年7月からは、全国に先駆けて映像通報システム「LIVE119」の運用を開始し、通報者等の協力で現場の状況を映像としてリアルタイムで確認することができるようになり、より円滑・適切な現場活動に繋がっています。

また、職員の勤務環境についても随時改善を行っており、令和元年11月には、南分署の大改修工事が完了し、全消防署における仮眠室の個室化と女性職員が勤務できる環境が整い、令和2年3月には、国内の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2部制勤務から3部制勤務体制に移行し、署内における感染症の蔓延防止・予防対策を行っております。

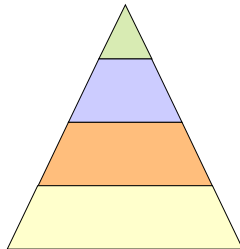


●小野市章
「小」を図案化し、ひらがなの「の」で囲ったものです。



●市花：ひまわり
ひまわりは、明るく健康的で雄大である反面、謙譲の美徳を兼備しており、発展していく小野市を象徴する。

一目統計

	 令和4年4月1日現在	 令和4年4月1日現在	 令和4年度	 令和4年4月1日現在
面 積 92.94km ²	人 口 合計 47,561人 男性 23,346人 女性 24,215人	世 帯 数 20,383世帯	予 算 23,000,000千円 【うち消防予算】 852,510千円	署 所 消防本部 1 消防署 1 分 署 2
 令和4年4月1日現在	 令和4年4月1日現在	 令和4年4月1日現在	 令和3年中	 令和3年中
消防車両 消防車 7台 救急車 4台 その他の車両 5台	消防職員数 定 員 80人 実 員 73人 うち女性 3人	消防団員 定 員 700人 実 員 652人 うち女性 14人	火 災 発生件数 16件 うち建物火災 6件 損害額 11,697千円	救 急 発生件数 2,214件 搬送人員 2,070人 現場まで平均 約7.1分
 令和3年中	 令和3年中	 令和3年中	 令和4年4月1日現在	 令和4年3月31日現在
救 助 発生件数 28件 活動件数 14件 救助人員 14人	その他の災害 発生件数 335件 〔検 索・危険火排除・ 危険物排除等〕	消防署への通報・問合せ 119番 2,280件 病院照会 1,728件 その他 2,199件	自主防災組織数 婦人防火クラブ 1 幼年消防クラブ 6 女性消防隊 3	危険物施設数 製造所 13 貯蔵所 164 取扱所 99

消防機関配置図



消防庁舎の概要

庁 舎 名	所 在 地	開署年月日	構 造	建築面積	延 面 積	備 考
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6㎡	3087.3㎡	女性吏員の職場環境整備済み
小野市消防署 南 分 署	小野市池尻町 628番地の161	平成4年4月1日	鉄筋コンクリート造 地上2階建	510.85㎡	696.35㎡	令和元年11月大改修 女性吏員の職場環境整備済み
小野市消防署 北 分 署	小野市古川町 1250番地	平成30年4月8日	鉄骨造 平屋建	369.02㎡	324㎡	女性吏員の職場環境整備済み

小野消防の現況

(令和4年4月1日現在)

常 備	署名	消防職員	消防ポンプ車等	35m級はしご車	救助工作車	高規格救急車
	3	73	5	1	1	4
非 常 備	団本部	分団数	消防団員数	消防自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
	1	6	652	7	49	54

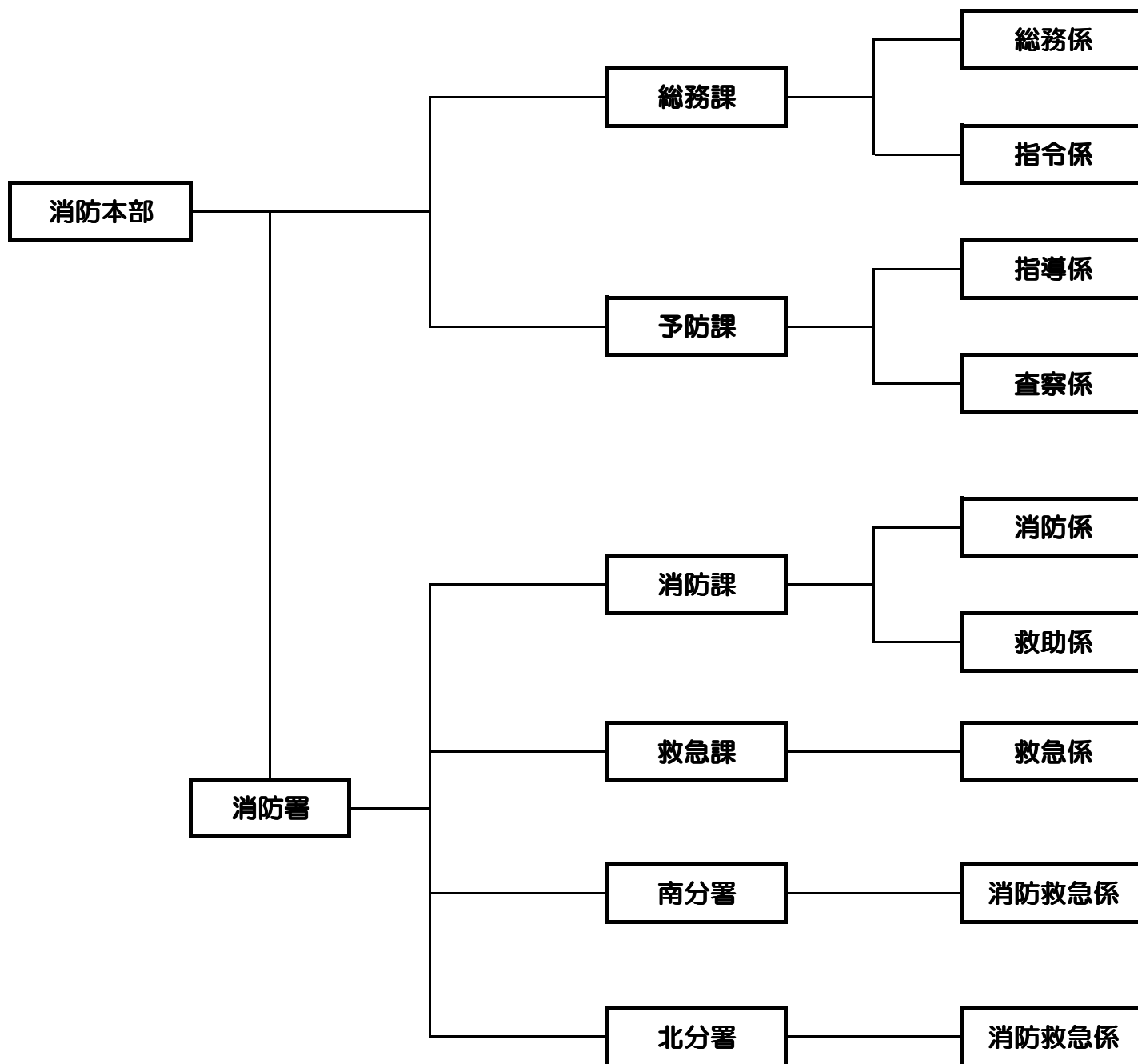
小野市の平均

(令和4年4月1日現在)

小野市の人口	47,561人	人口密度	512人／km ²
小野市の世帯数	20,383世帯	1世帯あたりの人口	2.32人
小野市の予算 (うち消防予算)	23,000,000千円 (852,510千円)	市民1人あたり (うち消防予算)	483,589円 (17,925円)
火災発生件数	16件	火災出場	23日に1件
救急発生件数	2,214件	救急出場1日あたり	6.1件
救急搬送人員	2,070人	救急車利用	23人に1人

小野市消防本部の組織図

令和4年4月1日現在



小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 定 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
S40	37,159	8,035	17	1,414	46	3,655		26	31	昭和40年4月 消防本部発足
S45	38,141	8,767	25	1,144	35	47,741		376	391	
S50	40,494	9,870	31	1,060	25	5,647	1	730	680	
S55	43,686	11,239	33	1,060	44	21,237		775	757	昭和41年12月 救急業務開始
S56	44,189	11,493	34	1,060	56	37,550	1	738	719	
S57	44,562	11,643	36	1,060	55	125,784		717	718	
S58	45,026	11,856	36	1,060	64	47,872		819	804	昭和46年6月 消防本部移転
S59	45,364	12,015	38	1,044	51	17,571		814	808	
S60	45,684	12,206	39	1,044	63	136,283	1	852	861	
S61	45,870	12,323	39	1,044	64	72,307	6	863	870	平成4年4月 南分署開設
S62	45,948	12,370	39	1,044	62	241,457	3	825	837	
S63	45,946	12,463	41	1,044	48	64,978	1	865	873	
H1	46,083	12,580	42	1,044	35	20,680	1	916	963	平成26年4月 防災センター開設 消防本部・消防署移転 市北部に救急隊派遣
H2	46,244	12,750	45	1,044	42	77,376	1	958	983	
H3	46,480	12,957	49	1,044	44	34,744		1,008	1,048	
H4	46,885	13,298	51	1,044	31	30,588		1,049	1,084	
H5	47,466	13,709	54	1,044	35	42,928	1	1,008	1,017	
H6	47,884	14,044	56	1,044	70	22,433		1,032	1,061	平成30年4月 北分署開設
H7	48,491	14,493	57	1,044	70	141,904	1	1,191	1,254	
H8	48,828	14,775	58	1,044	76	369,276	1	1,250	1,292	
H9	49,197	15,042	59	1,044	42	51,163	1	1,283	1,335	令和元年11月 南分署大改修工事
H10	49,533	15,377	60	1,044	36	30,758		1,283	1,312	
H11	49,961	15,796	60	874	42	62,609		1,225	1,240	
H12	50,309	16,100	60	874	49	59,588	1	1,370	1,429	令和2年3月 2部から3部勤務体制に移行
H13	50,383	16,223	60	874	54	76,348	1	1,364	1,435	
H14	50,441	16,441	62	874	36	128,900	1	1,421	1,456	
H15	50,601	16,712	60	874	22	2,297	1	1,453	1,486	
H16	50,653	16,919	62	874	36	73,103	1	1,570	1,599	
H17	50,562	17,111	63	874	40	30,707	3	1,702	1,696	
H18	50,463	17,407	63	874	24	140,682	1	1,734	1,724	
H19	50,415	17,624	64	874	34	30,747		1,725	1,705	
H20	50,390	17,887	64	874	31	622,862	1	1,724	1,692	
H21	50,478	18,212	64	874	21	19,579		1,754	1,678	
H22	50,540	18,460	64	700	19	8,349		1,816	1,727	
H23	50,485	18,656	64	700	29	129,487	1	1,834	1,742	
H24	50,364	18,823	64	700	21	102,297		1,902	1,811	
H25	50,162	19,028	63	700	18	6,291		1,919	1,834	
H26	49,903	19,151	65	700	22	36,228	1	2,108	1,982	
H27	49,495	19,249	66	700	14	55,817	1	2,136	1,986	
H28	49,163	19,332	67	700	20	16,075	3	2,358	2,178	
H29	49,019	19,567	68	700	22	67,501	1	2,260	2,109	
H30	48,808	19,782	70	700	21	650,448	1	2,342	2,219	
R1	48,560	19,951	73	700	22	147,628	3	2,310	2,177	
R2	48,356	20,197	73	700	24	10,964		2,136	1,996	
R3	47,961	20,249	73	700	16	11,697		2,214	2,070	
R4	47,561	20,383	73	700						

※ 人口・世帯数は、4月1日現在

※ 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

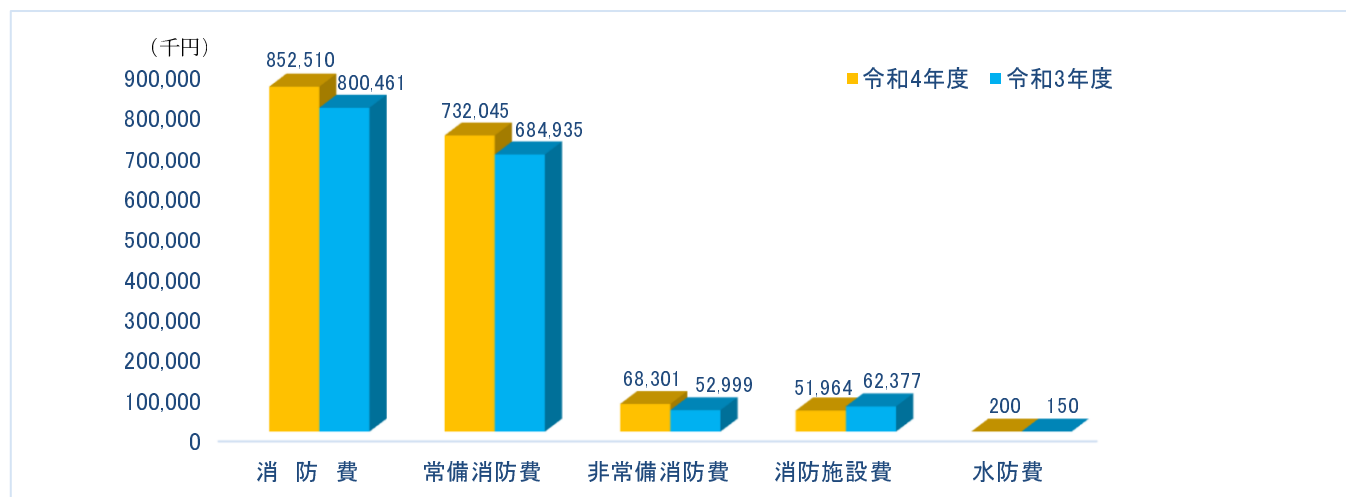
※ 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(単位:千円)

区 分 \ 年 度 別	令和3年度	令和4年度	前年度比較	増減率
一般会計	21,600,000	23,000,000	1,400,000	6.1%
消 防 費	800,461	852,510	52,049	6.1%
常備消防費	684,935	732,045	47,110	6.4%
非常備消防費	52,999	68,301	15,302	22.4%
消防施設費	62,377	51,964	△ 10,413	-20.0%
水防費	150	200	50	25.0%
消防費比率	3.7%	3.7%	0.0%	



消防職員の表彰等状況

区 分 \ 年度別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
消防庁長官表彰	1	1	1	1	1
全国消防長会(消防特別功労)	1				
全国消防長会(功労、永年勤続)	2	1	3	2	3
全国消防協会表彰(優良消防職員)					1
県知事表彰(功労、永年勤続)	4	5	4	6	5
市長表彰(功労、永年勤続)	4	4	2	2	2
消防長表彰(功労、永年勤続)	3	2			1
署長表彰(功績)	7				

消防職員年齢別状況

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	小 計	うち女性	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
18歳	1							1	
19歳	1							1	
20歳	1							1	
21歳	3							3	
22歳									
23歳									
24歳	1							1	
25歳	2						2		
26歳	3					2	1		
27歳	2					1	1		
28歳	1					1			
29歳	1					1			
30歳	1					1			
31歳	3					3			
32歳	1					1			
33歳	2	1				2			
34歳									
35歳	2	1			2				
36歳	2				2				
37歳	1				1				
38歳	2				2				
39歳	2				2				
40歳	2				2				
41歳	2				2				
42歳	1				1				
43歳	1				1				
44歳	1				1				
45歳	2				2				
46歳	1				1				
47歳	4			2	2				
48歳	3			2	1				
49歳	3			3					
50歳	3			3					
51歳	2			1	1				
52歳	2			2					
53歳	3	1		2					1
54歳									
55歳	3			3					
56歳	3			3					
57歳	1			1					
58歳	3		1	2					
59歳									
60歳	1				1				
合計人数	73	3	1	24	24	12	4	7	1
平均年齢	40.8	40.3	58.0	52.3	42.2	29.8	25.8	20.6	53.0

消防職員の学校教育状況

種 別			年度別		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	現職員 累 計
消防 大学 校	総合教育	新任消防長科									0
	専科教育	上級幹部科					1				1
		幹 部 科									1
		予 防 科									0
		救 助 科									2
		救 急 科									1
	緊急消防援助隊教育科 航空隊コース										1
兵庫 県消 防学 校	初任教育	初 任 科	2	1	2	3	1	2	72		
	専科教育	災害現場指揮科		1		1		1	5		
		警防科(警防課程含む)	1				1		17		
		予防査察科(予防課程含む)		1		1		1	16		
		危険物科	1						8		
		火災調査科	1	1		1		1	17		
		救急科	救急科(標準課程含む)	1		1	3	1	1	35	
			救急Ⅱ課程							25	
		特殊災害科	1	1		1			11		
		救助科	1	1		1	2	2	31		
	幹部教育	初級幹部科		1		1		1	11		
		中級幹部科	1						4		
		上級幹部科	1						2		
	特別教育	はしご自動車科							9		
		潜水科	4		2			2	15		
		ポンプ操法講習会		5		2			38		
		惨事ストレス研修	1	1		1	1	1	14		
		実火災体験型訓練コース		1		10	10	9	28		
		山岳救助技術研修	2	2		1	2	2	19		
		通信指令科(通信担当者研修含む)				2			8		
	救急救命士養成課程		1	1		1	1	1	14		
神戸 市消 防学 校	予防査察基礎課程								4		
	予防課程								1		
	救急Ⅱ課程								3		
	救助課程								5		
	警防課程								0		
	警防小隊長課程								0		
	警防指揮課程								3		
	火災調査課程								6		
	化学災害対応技術課程								1		
	機械課程			1			1		9		
	救急救命士養成課程								9		
救急救命士東京研修所								3			
救急救命士九州研修所追加講習								3			
玉掛・クレーン技能講習		1	2					2	29		

消防職員の配置状況

(令和4年4月1日現在)

階 級	合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
条例定数	80	階 級 別 定 員 な し						
職 員 数	73	1	24	24	12	4	7	1
消 防 本 部	消防長	1						
	総務課	15		6	6		2	1
	予防課	12		4	7	1		
消 防 署	署長	1		1				
	消防課	12		4		2	2	4
	救急課	6		3	2	1		
	南分署	16		3	7	5	1	
	北分署	10		3	2	3	1	1

消防力の現勢

(令和4年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過 不 足	充 足 率
署 所 数		3	3	0	100%
車 両	消防ポンプ自動車	2	2	0	100%
	化学消防自動車	1	1	0	100%
	高規格救急車	4	4	0	100%
	35m級先端屈折式はしご車	1	1	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮広報車	1	1	0	100%
	小型動力ポンプ付積載車	—	1	—	100%
	水槽車	—	1	—	100%
	貨物車(資機材搬送車)	—	1	—	100%
	軽四積載車	—	2	—	100%
	人 員	消防隊員	39	13	-26
救急隊員		36	23	-13	63.9%
救助隊員		15	3	-12	20.0%
指揮隊員		9	6	-3	66.7%
通信員		6	6	0	100.0%
予防要員		9	12	3	133.3%
庶務の処理等の要員		11	7	-4	63.6%
その他派遣		—	3	—	—
合 計		125	73	-52	58.4%

消防職員の免許・資格所有状況

※事務職員除く

(令和4年4月1日現在)

種 別		階 級 (人数)	消防司令長 (1)	消防司令 (24)	消防司令補 (24)	消防士長 (12)	消防副士長 (4)	消防士 (7)	合 計 (72)
自動車運転免許	大型特殊一種		1	1	1				3
	大型一種		1	24	22	11	2		60
	中型一種		1	24	24	9			58
	普通一種		1	24	24	12	4	7	72
	牽引一種			1	1				2
	自動二輪			14	12	3			29
危険物取扱者	甲種				1				1
	乙種 1類		1	1	2				4
	乙種 2類			3	1				4
	乙種 3類		1	2	6	2			11
	乙種 4類		1	15	21	12	3	2	54
	乙種 5類			3	3	1			7
	乙種 6類			6	9	3	1	1	20
	丙種		1	15	2				18
消防設備士 乙種第6類			1	3	3	2			9
消防設備士 乙種第7類				1	1	1			3
予防技術資格者(防火査察)			1	4	10	6			21
予防技術資格者(消防用設備等)			1	4	3	1			9
予防技術資格者(危険物)			1	6	9	3			19
救急救命士				11	15	7	1	1	35
救急科					10	9	3	4	26
救急標準課程				3	5				8
救急Ⅱ課程			1	21	6				28
特殊無線従事者			1	8	1				10
第1級特殊無線技士				1					1
第2級特殊無線技士				15	23	12	4	5	59
アマチュア無線技士			1	3					4
小型船舶操縦士			1	7	3			1	12
小型移動式クレーン			1	15	12	1			29
玉掛技能			1	15	12	1			29
潜水士				6	15	6	3	2	32
車両系建設機械運転技能				2					2
ガス溶接			1	4					5
特定化学物質等作業主任者				7					7
防災士				1	2				3

令和3年度消防施設整備事業

整備事業名	場所	数量	備考
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	葉多町 長尾町 中島町	3	緊急防災減災事業
小型動力ポンプ積載車整備事業	船木町 阿形町	2	市補助事業(1/2)
防火水槽整備事業	山田町	2	緊急防災減災事業
	大島町	1	

予防

消防用設備等設置状況

(令和4年3月31日現在)

区 分 用 途 別		消 火 設 備						警 報 設 備				避難設備		排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	消 防 用 水	非常電源	
		消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス ブ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯					専 用 電	自 家 発
1 項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2			1		2			2		2					2	2
	ロ 公会堂又は集会場	11	3					10			8		10						3
2 項	イ キャバレー、カフェー等																		
	ロ 遊技場又はダンスホール	2						2			2		2						
	ハ 性風俗店等																		
	ニ カラオケボックス等	1						1			1		1						
3 項	イ 待合、料理店等																		
	ロ 飲食店	69						6			18	2	32						
4 項	百貨店、マーケット、店舗	68	9	1	1	1		32			22		56	1		1	1	6	7
5 項	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	7	2					8	1	5	1	2	8			1		1	2
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	294	3		1			47	10		35	40	9			4		3	3
6 項	イ 病院、診療所又は助産所	33	1	5	1			18	1	11	8	2	33			1	1	1	5
	ロ 老人福祉施設等	22	4	22				22		22	8	2	22			2		11	12
	ハ 老人デイサービスセンター等	34	1					22	1	5	2	3	24						
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	5	1					4			1		2					1	1
7 項	小、中、高校、大学、各種学校	47	28					42			30	4	16			2		25	
8 項	図書館、博物館、美術館	3	2					2	1									2	
9 項	イ 公衆蒸気浴場等																		
	ロ イ以外の公衆浴場	2	1					1			2		2					1	
10 項	停車場等																		
11 項	神社、寺院、教会等	13						1			2		1						
12 項	イ 工場又は作業場	623	123		7	29	1	253			12	1	74			2	14	94	8
	ロ 映画スタジオ等																		
13 項	イ 車庫又は駐車場	49			7			4											
	ロ 飛行機格納庫																		
14 項	倉 庫	427	49	1	3	13		131					48			1	3	44	1
15 項	その他の事業場	174	24		10	1		59			31	5	47		1	1		19	5
16 項	イ 複合用途（特 定）	106	2	1				42		2	15	13	62			1		2	2
	ロ 複合用途（非特定）	66	2	1		1		9			9	4	5			1	1	1	1
16 項の2	地下街																		
16 項の3	準地下街																		
17 項	重要文化財等の建築物	2						2											
18 項	アーケード																		
合 計		2,060	257	31	30	46	1	720	14	45	209	78	456	1	1	17	20	213	52

防火対象物の状況

(令和4年3月31日現在)

区 分 用 途 別			防 火 対 象 物 の 総 数	防火管理者						消防用設備		検査実施数	
				甲 種			乙 種			点 検 対 象 物 数	報 告 済 対 象 物 数	予 防 査 察	設 置 検 査
				要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 数	要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 済 数				
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	2	2				2	2		
	ロ	公会堂又は集会場	11	9	9	9				11	9		
2 項	イ	キャバレー、カフェー等											
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	2	2				2	2		
	ハ	性風俗店等											
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1				1	1		
3 項	イ	待合、料理店等											
	ロ	飲食店	69	5	5	5	26	24	21	69	7		2
4 項		百貨店、マーケット、店舗	68	25	24	24	22	19	17	68	44	16	7
5 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	7	4	4	4				7	5		
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	294	34	34	25				294	114		4
6 項	イ	病院、診療所又は助産所	33	14	14	14	1	1	1	33	16	2	2
	ロ	老人短期入所施設等	22	19	19	19				22	22	22	3
	ハ	老人デイサービスセンター等	34	17	17	17	3	3	3	34	27	2	8
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5		
7 項		小、中、高校、大学、各種学校	47	15	15	15	2	2	2	47	47		1
8 項		図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	2		
9 項	イ	公衆蒸気浴場等											
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1	1	1				2	1		
10 項		停車場等											
11 項		神社、寺院、教会等	13	2	2	2				13	3		
12 項	イ	工場又は作業場	623	53	53	46				623	284	1	34
	ロ	映画スタジオ等											
13 項	イ	車庫又は駐車場	49							49	26	5	
	ロ	飛行機格納庫											
14 項		倉 庫	427	4	4	4				427	199	80	8
15 項		その他の事業場	174	34	31	31	3	2	2	174	99	5	5
16 項	イ	複合用途（特 定）	106	26	26	24	10	10	9	106	34	13	4
	ロ	複合用途（非特定）	66	7	7	5	4	4	3	66	17	2	1
16 項の2		地下街											
16 項の3		準地下街											
17 項		重要文化財等の建築物	2	1	1					2	2		
18 項		アーケード											
合 計			2,060	280	276	255	71	65	58	2,060	968	148	79

月別・地区別建築同意状況

(令和3年度)

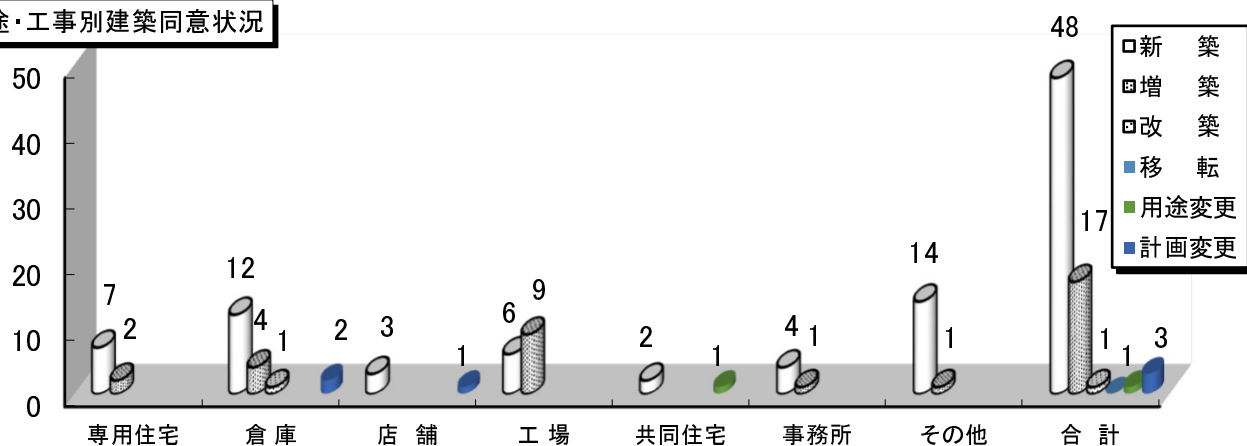
月 別 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合 計
4 月	4			1		1	6
5 月				1		1	2
6 月	3	1			1	2	7
7 月	4			1	2		7
8 月		1		2			3
9 月	1				2	2	5
10 月	2	2		1	1	1	7
11 月	1			1	3	3	8
12 月	2			3	2		7
1 月	3	1		1	1	1	7
2 月	1			1		2	4
3 月			1	1	1	4	7
合 計	21	5	1	13	13	17	70

用途・工事別建築同意状況

(令和3年度)

工事別 \ 用途別	専用住宅	倉 庫	店 舗	工 場	共同住宅	事務所	その他	合 計
新 築	7	12	3	6	2	4	14	48
増 築	2	4		9		1	1	17
改 築		1						1
移 転								0
用途変更					1			1
計画変更		2	1					3
合 計	9	19	4	15	3	5	15	70

用途・工事別建築同意状況



各種届出指示状況

(令和3年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任（解任）届	75	1,302
消防計画作成（変更）届	116	
消防訓練計画届	198	
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	180	
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	124	
防火対象物使用開始届	60	
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	520	
発電・変電・蓄電池設備届	29	
指示書による指示件数		40
甲種防火管理新規講習課程修了証		41
乙種防火管理講習課程修了証		0
甲種防火管理再講習課程修了証		0

一般家庭・高齢者（独居）家庭の防火診断実施状況

(令和4年3月31日現在)

区 分 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
一般家庭実施件数							0
累 計	692	757	273	697	249	364	3,032
高齢者（独居）家庭実施件数				24			24
累 計	649	366	272	274	219	351	2,131
総診断数	1,341	1,123	545	971	468	715	5,163

中高層建築物等状況

(令和4年3月31日現在)

階 数	地 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	合計
棟 数	44	225	57	37	4	5	0	2	2	376

危険物施設状況

(令和4年3月31日現在)

指定数量別 製造所等の区分		5 倍 以下	5 倍 を 超 え 10 倍 以下	10 倍 を 超 え 50 倍 以下	50 倍 を 超 え 100 倍 以下	100 倍 を 超 え 150 倍 以下	150 倍 を 超 え 200 倍 以下	200 倍 を 超 え 1000 倍 以下	1000 倍 を 超 える	計
製 造 所		2	4	1	5			1		13
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	19	9	14	3	5	2	2	3	57
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6	7	21	4	1		2		41
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	1						3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	15	9	11	1					36
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	13	2	1	2					18
	屋 外 貯 蔵 所	2	3	4						9
取扱所	給 油 取 扱 所	9	3	14	3	3	3	7		42
	第 1 種 販 売 取 扱 所									0
	第 2 種 販 売 取 扱 所									0
	移 送 取 扱 所									0
	一 般 取 扱 所	28	15	11	2			1		57
計		95	53	78	20	9	5	13	3	276

許可・完成検査・承認数状況

(令和3年度)

許可等の区分 製造所等の区分		許 可		完成検査		タンク 検 査	廃止及び 転 出
		設 置	変 更	設 置	変 更		
製 造 所			16	1	17		
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	1	5		4		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		1	1	1		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所						
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		1		1		2
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	2		2			
	屋 外 貯 蔵 所						
取扱所	給 油 取 扱 所		6		6		1
	第 1 種 販 売 取 扱 所						
	第 2 種 販 売 取 扱 所						
	移 送 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	1	14		14		
上 記 施 設 以 外						2	
計		4	43	4	43	2	4

仮 使 用 承 認 数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合 計
43	1	44

危険物規制事務処理状況

(令和3年度)

申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	26
危険物製造所等軽微変更届	138
危険物製造所等譲渡引渡届	0
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	10
危険物製造所等廃止届	2
危険物製造所等休止届	1
危険物製造所等危険作業届	8
危険物製造所等定期点検結果報告	148
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任解任届	41
危険物取扱作業従事者届	114
危険物製造所等消防設備関係届	7
少量危険物貯蔵取扱い届	11
少量危険物廃止届	5
指定可燃物貯蔵取扱い届	6
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	9
炉・かまど・ボイラー等設置届	9
改善計画書	39
その他	14
合 計	588

危険物施設立入検査状況

(令和3年度)

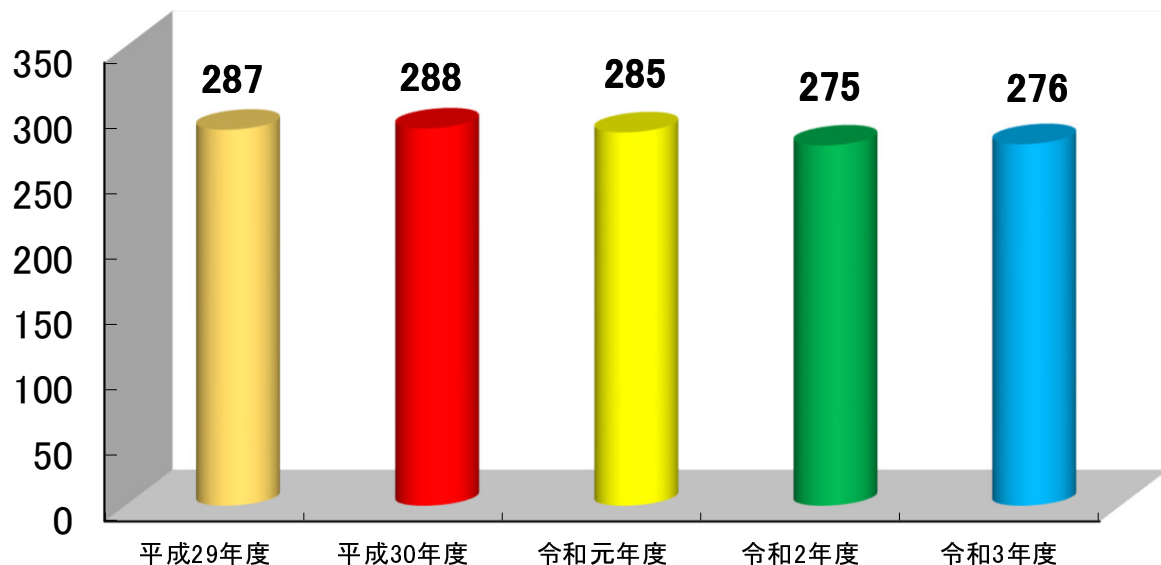
製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 貯 蔵 内 所	屋 貯 蔵 外 タ ン ク	屋 貯 蔵 内 タ ン ク	地 下 貯 蔵 タ ン ク	簡 易 貯 蔵 タ ン ク	移 動 貯 蔵 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
2	8	7	1	3	0	8	3	30	21	20	41	73

少量危険物施設立入検査状況

(令和3年度)

少量危険物施設（少量危険物移動タンク含む）	34
-----------------------	----

過去5年間の危険物施設数(完成検査済)状況



年度別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	287	288	285	275	276

手数料収入額状況

(令和3年度)
(単位：千円)

許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査 手数料		仮使用 手数料	仮貯蔵 仮取扱 手数料	合 計
設 置	変 更		水 張	圧 力			
216	1, 193	685	12	0	232	5	2, 343

県委譲事務処理状況

(令和3年度)

液化石油ガス関係		高圧ガス関係		火薬類関係	
設備工事届	立入検査	立入検査	行政措置	立入検査	行政措置
2	2	0	0	0	0

防火防災組織の状況

(令和4年4月1日現在)

団 体 名		人 員	結成年月日	活 動 状 況
小野市幼年婦人防火委員会 (会長 藤原 靖)		6	昭和60年4月1日	・ 防火防災組織の育成指導
婦人防火クラブ	小野市婦人防火クラブ		昭和60年4月1日	・ 防火街頭宣伝活動 ・ 家庭防火診断の推進 ・ その他の防火広報活動
幼年消防クラブ	北辰保育園幼年消防クラブ	113	昭和60年7月1日	・ 避難訓練の実施 ・ 防火教室の開催 ・ 防火絵画展開催 ・ 消防大会への参加
	来住保育所幼年消防クラブ	126	昭和60年12月1日	
	小野保育所幼年消防クラブ	213	昭和61年2月1日	
	下東条西保育所幼年消防クラブ	107	昭和62年11月1日	
	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	106	昭和63年7月1日	
	栗生こども園幼年消防クラブ	118	平成10年2月28日	
女性消防隊	育ヶ丘女性消防隊	30	昭和54年4月1日	・ 消防機器の点検・訓練 ・ 防火広報活動の実施 ・ 初期消火活動 ・ 防火・救急教室の開催 ・ 自衛消防競技会への参加 ・ 消防大会への参加
	高山町女性消防隊	5	昭和60年4月1日	
	小野ニュータウン女性消防隊	14	平成4年9月1日	
その他	小野市防火協会	239	昭和48年4月1日	・ 防火広報誌の発行 ・ 各種防火広報活動 ・ 各種防火研修会の開催
	小野匠工業会防災連絡委員会	35	平成6年4月1日	・ 消火、防火訓練の実施 ・ 防火、救急講習会の実施 ・ 防火広報活動の実施 ・ 自衛消防競技会への参加

消防



令和3年 火災概要



1 火災件数と火災種別

令和3年中の火災件数は16件(対前年比8件減)となっています。
火災種別でみると、最も多く発生しているのが、建物火災と林野火災が各6件(約38%)、次にその他火災が4件(25%)となっています。

2 建物火災焼損程度

建物火災を焼損程度別にみると、焼損した火元及び類焼建物の合計が7棟で、うち全焼が3棟、半焼が2棟、ぼやが2棟となっています。

3 出火原因

出火原因は多いものから、「火入れ(焼却行為)」による火災が8件(50%)、次いで「排気管」、「電気機器」、「電気装置」、「配線器具」、「たき火」による火災が各1件(約6%)発生しています。

なお、「その他」が2件(約13%)、「不明・調査中」が1件(約6%)となっています。

4 火災による死傷者

令和3年中の火災による死傷者数は、負傷者が1人(対前年比1人減)発生しましたが、死者は前年同様、発生していません。

5 焼損面積

焼損面積を種別でみると、建物焼損床面積が372㎡(対前年比53㎡増)、建物焼損表面積は0㎡(対前年比26㎡減)となっています。

林野の焼損面積は、48a(対前年比20a増)となっています。

6 火災損害状況

令和3年中の火災総損害額は11,697千円(対前年比733千円増)となっています。

火災種別でみると、建物火災が11,554千円(対前年比2,589千円増)で、その他火災が143千円(対前年比4千円減)となっています。

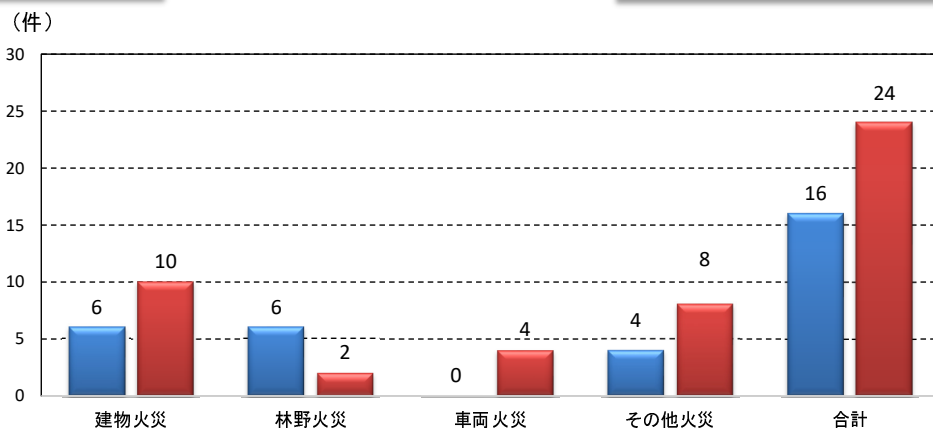
7 地区別火災発生状況

火災件数を地区別でみると、小野地区が最多の9件、次いで市場地区が3件、大部地区、河合地区がそれぞれ2件発生しています。来住地区、下東条地区で火災は発生していません。

火災状況前年比較

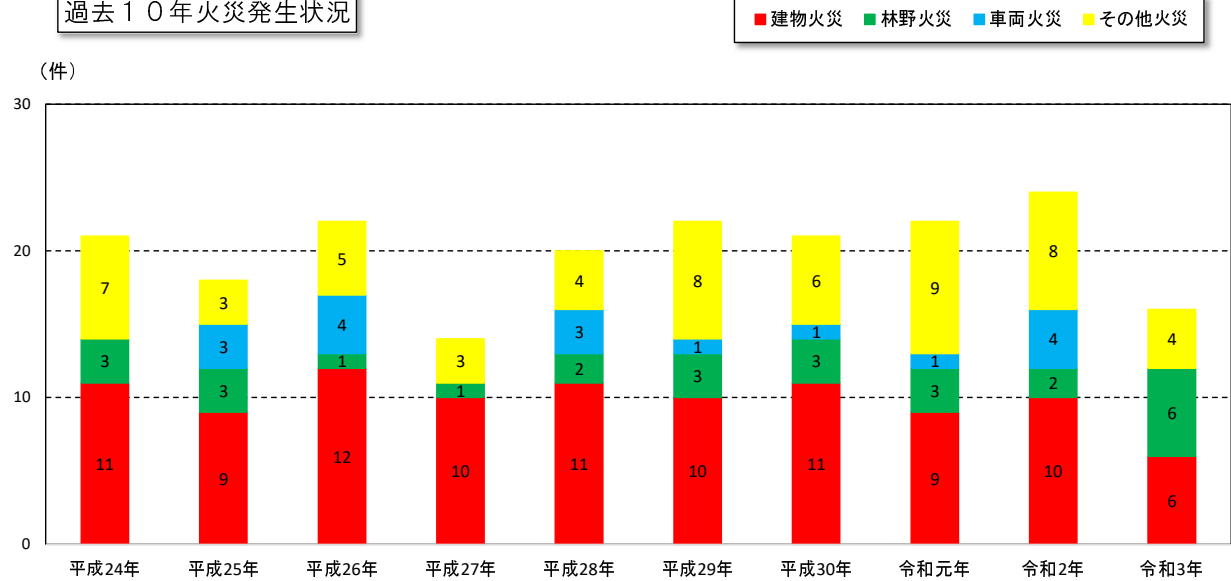
年 別 区 分			令和3年				令和2年				前年比較			
			本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
火災 件数 (件)	合 計		3	9	4	16	5	11	8	24	-2	-2	-4	-8
	建物火災		3	2	1	6	1	5	4	10	2	-3	-3	-4
	林野火災		0	5	1	6	0	2	0	2	0	3	1	4
	車両火災		0	0	0	0	2	1	1	4	-2	-1	-1	-4
	その他火災		0	2	2	4	2	3	3	8	-2	-1	-1	-4
損害 額 (千円)	合 計		7,348	4,314	35	11,697	4,504	4,503	1,957	10,964	2,844	-189	-1,922	733
	建物火災		7,348	4,171	35	11,554	3,943	3,502	1,520	8,965	3,405	669	-1,485	2,589
	林野火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災		0	0	0	0	561	976	315	1,852	-561	-976	-315	-1,852
	その他火災		0	143	0	143	0	25	122	147	0	118	-122	-4
焼 損 面 積	建 物	焼損合計(㎡)	210	120	42	372	150	154	41	345	60	-34	1	27
		焼損床面積(㎡)	210	120	42	372	150	130	39	319	60	-10	3	53
		焼損表面積(㎡)	0	0	0	0	0	24	2	26	0	-24	-2	-26
	林 野 (a)		0	46	2	48	0	28	0	28	0	18	2	20
焼損棟数(棟)			3	3	1	7	2	10	5	17	1	-7	-4	-10
り災世帯数(世帯)			2	0	0	2	2	5	3	10	0	-5	-3	-8
り災人員(人)			6	0	0	6	2	14	12	28	4	-14	-12	-22
焼損車両数(台)			0	0	0	0	3	1	1	5	-3	-1	-1	-5
負傷者(人)			0	0	1	1	0	1	1	2	0	-1	0	-1
死 者(人)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出 動 人 員	合 計(人)		58	203	52	313	98	139	82	319	-40	64	-30	-6
	消防職員(人)		50	112	37	199	70	126	80	276	-20	-14	-43	-77
	消防団員(人)		8	91	15	114	28	13	2	43	-20		13	71

火災件数前年比較



火災発生状況 10年比較

過去10年火災発生状況



火災種別出火件数の推移

(件)

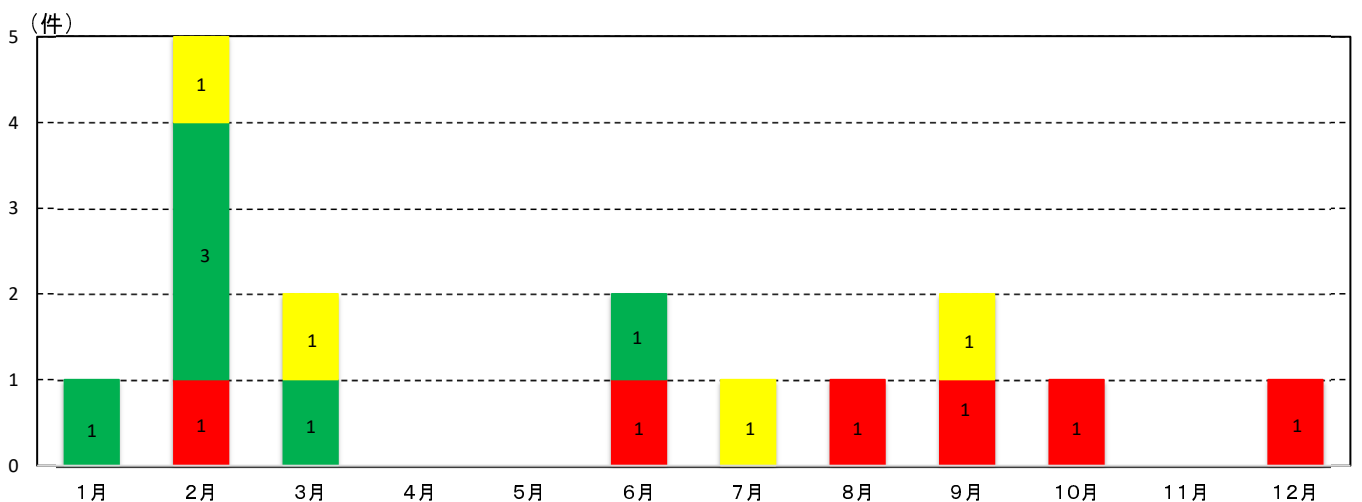
	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成24年	11	3	0	7	21
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22
平成27年	10	1	0	3	14
平成28年	11	2	3	4	20
平成29年	10	3	1	8	22
平成30年	11	3	1	6	21
令和元年	9	3	1	9	22
令和2年	10	2	4	8	24
令和3年	6	6	0	4	16

月別火災発生状況

区 分 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災 件数 (件)	合 計	1	5	2	0	0	2	1	1	2	1	0	1	16
	建物火災	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	6
	林野火災	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
	車両火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他火災	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
損害 額 (千円)	合 計	0	138	0	0	0	1	0	1,956	6,698	2,215	0	689	11,697
	建物火災	0	35	0	0	0	1	0	1,956	6,658	2,215	0	689	11,554
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他火災	0	103	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	143
焼 損 面 積	建 焼損合計(m ²)	0	42	0	0	0	0	0	0	35	120	0	175	372
	焼損床面積(m ²)	0	42	0	0	0	0	0	0	35	120	0	175	372
	焼損表面積(m ²)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	林 野 (a)	1	39	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	48
焼損棟数(棟)		0	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1	7
り災世帯数(世帯)		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
り災人員(人)		0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	6
焼損車両数(台)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者(人)		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
死 者(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出 動 人 員	合 計(人)	15	142	29	0	0	18	9	6	32	34	0	28	313
	消防職員(人)	8	65	24	0	0	18	9	6	30	17	0	22	199
	消防団員(人)	7	77	5	0	0	0	0	0	2	17	0	6	114

月別火災発生状況

■建物火災 ■林野火災 ■車両火災 ■その他火災



時間別火災発生状況

(件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
0時～1時																	0
1時～2時																	0
2時～3時																	0
3時～4時																	0
4時～5時																	0
5時～6時																	0
6時～7時																	0
7時～8時						1							1				1
8時～9時																	0
9時～10時			1					1					1	1			2
10時～11時							1		1				1			1	2
11時～12時																	0
12時～13時		1							1			1	1	1		1	3
13時～14時		2												1		1	2
14時～15時			1													1	1
15時～16時		1				1							1	1			2
16時～17時		1												1			1
17時～18時	1									1			1	1			2
18時～19時																	0
19時～20時																	0
20時～21時																	0
21時～22時																	0
22時～23時																	0
23時～24時																	0
不 明																	0
合 計	1	5	2	0	0	2	1	1	2	1	0	1	6	6	0	4	16

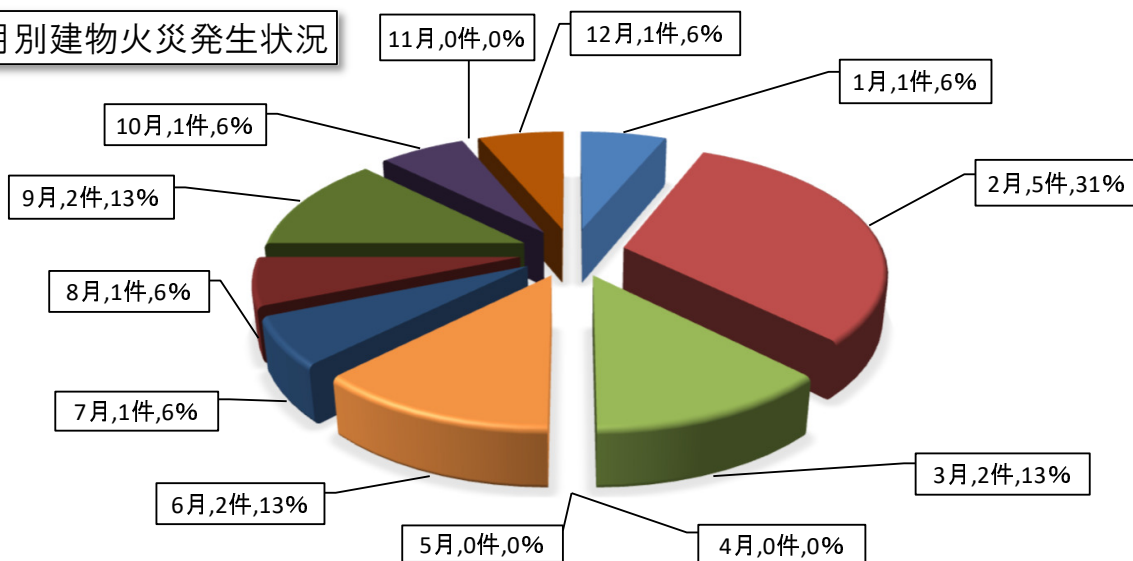
曜日別火災発生状況

(件)

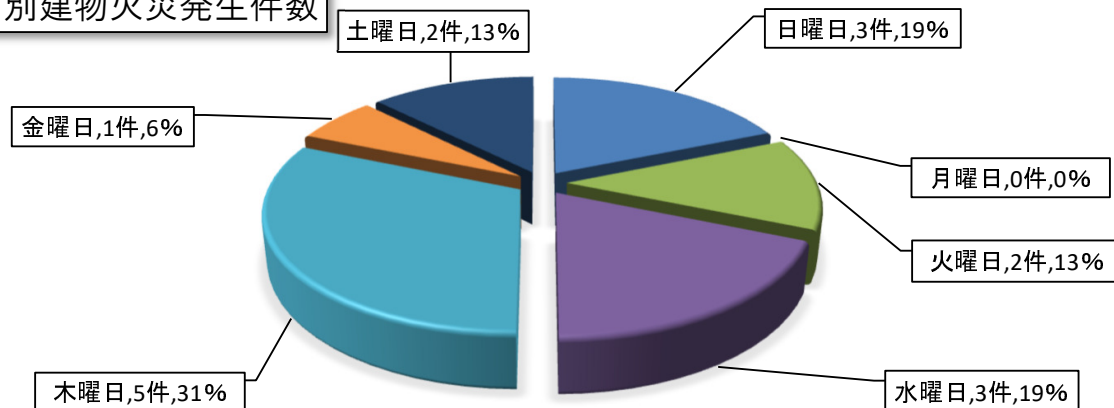
月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
日曜日	1	2												3			3
月曜日																	0
火曜日						1						1	2				2
水曜日						1			2				1	1		1	3
木曜日		2	1				1	1					1	2		2	5
金曜日										1			1				1
土曜日		1	1										1			1	2
不明																	0
合計	1	5	2	0	0	2	1	1	2	1	0	1	6	6	0	4	16

月別・曜日別建物火災発生状況

月別建物火災発生状況



曜日別建物火災発生件数



建物用途別火災発生状況

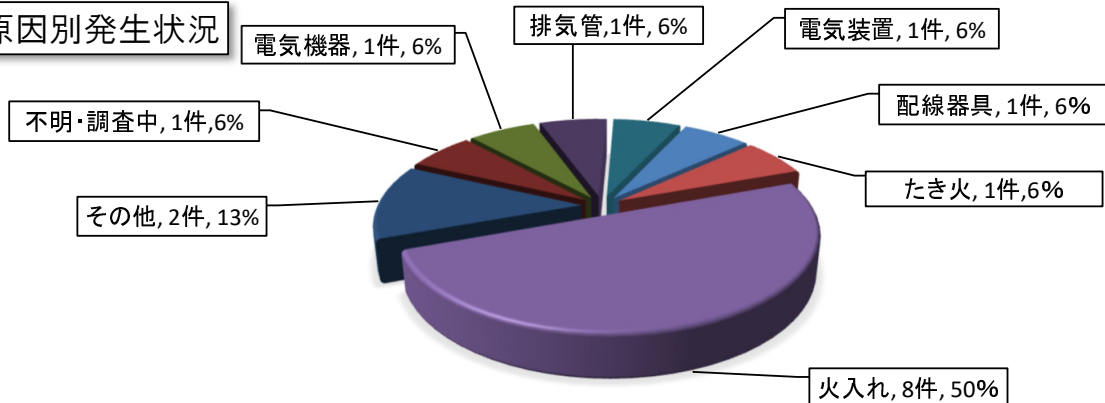
※建物火災のみ

用 途 別		一般住宅	事務所	倉庫	工場・作業場	合 計
発生件数(件)		2	1	1	2	6
火災損害額(千円)		6,659	35	2,215	2,645	11,554
焼損面積	床面積(m ²)	35	42	120	175	372
	表面積(m ²)	0	0	0	0	0

出火原因別発生状況

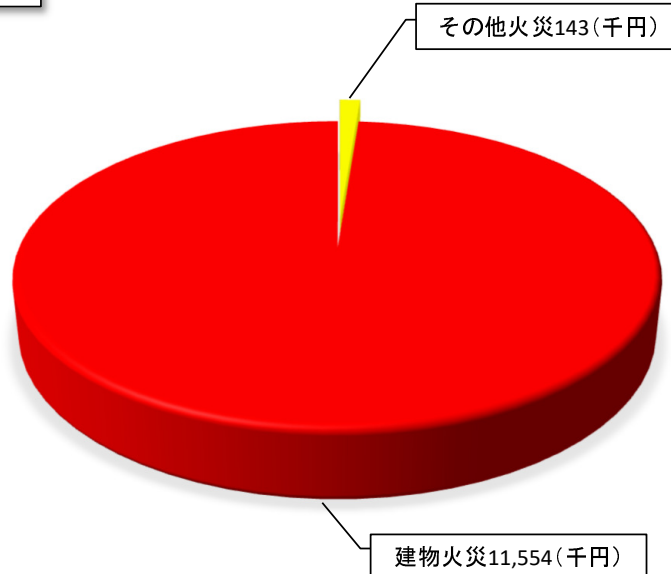
区 分 原 因	火災件数(件)					損害額 (千円)	焼損面積			負傷者 (人)	死 者 (人)
	合 計	建 物	林 野	車 両	その他		建 物 床面積 (㎡)	建 物 表面積 (㎡)	林 野 (a)		
たばこ											
こんろ											
かまど											
風呂かまど											
炉											
焼却炉											
ストーブ											
こたつ											
ボイラー											
煙突・煙道											
排気管	1				1						
電気機器	1	1				6,658	35				
電気装置	1	1				2,215	120				
電灯・電話等の配線											
交通機関内配線											
内燃機関											
配線器具	1	1				1					
火あそび											
マッチ・ライター											
たき火	1		1						2	1	
溶接機・切断機											
灯火											
衝突の火花											
取灰											
火入れ	8	1	5		2	178	42		46		
放火											
放火の疑い											
その他	2	2				2,645	175				
不明・調査中	1				1						
合 計	16	6	6	0	4	11,697	372	0	48	1	0

出火原因別発生状況



損害額発生状

火災種別損害額状況



火災種別損害額の推移

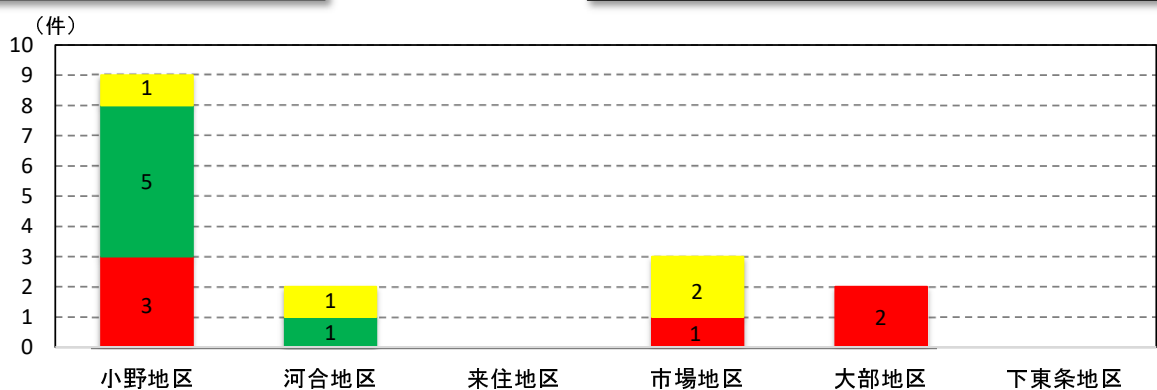
(千円)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成24年	102,296	0	0	1	102,297
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228
平成27年	55,385	0	0	0	55,385
平成28年	15,251	0	810	14	16,075
平成29年	67,087	0	348	66	67,501
平成30年	150,308	0	138	2	150,448
令和元年	146,722	0	759	12	147,493
令和2年	8,965	0	1,852	147	10,964
令和3年	11,554	0	0	143	11,697

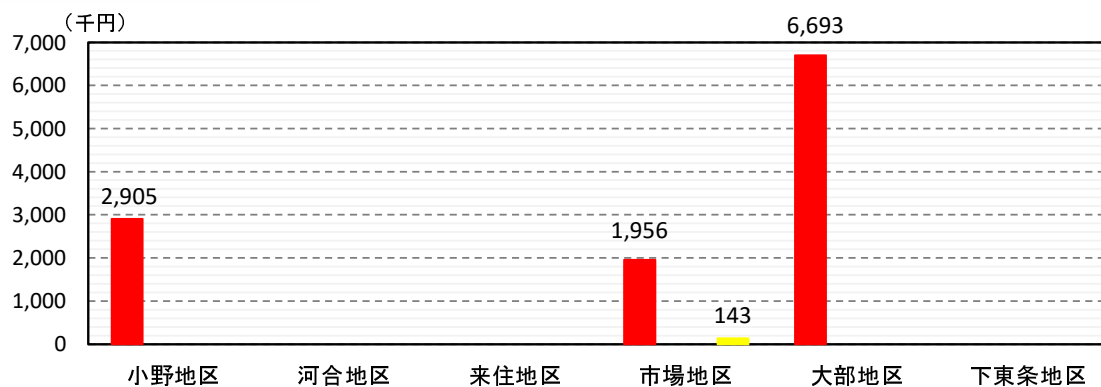
地区別火災発生状況

種 別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合 計
建物火災(件)	3	0	0	1	2	0	6
損害額(千円)	2,905	0	0	1,956	6,693	0	11,554
林野火災(件)	5	1	0	0	0	0	6
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
車両火災(件)	0	0	0	0	0	0	0
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
その他火災(件)	1	1	0	2	0	0	4
損害額(千円)	0	0	0	143	0	0	143
火災件数合計(件)	9	2	0	3	2	0	16
損害額合計(千円)	2,905	0	0	2,099	6,693	0	11,697

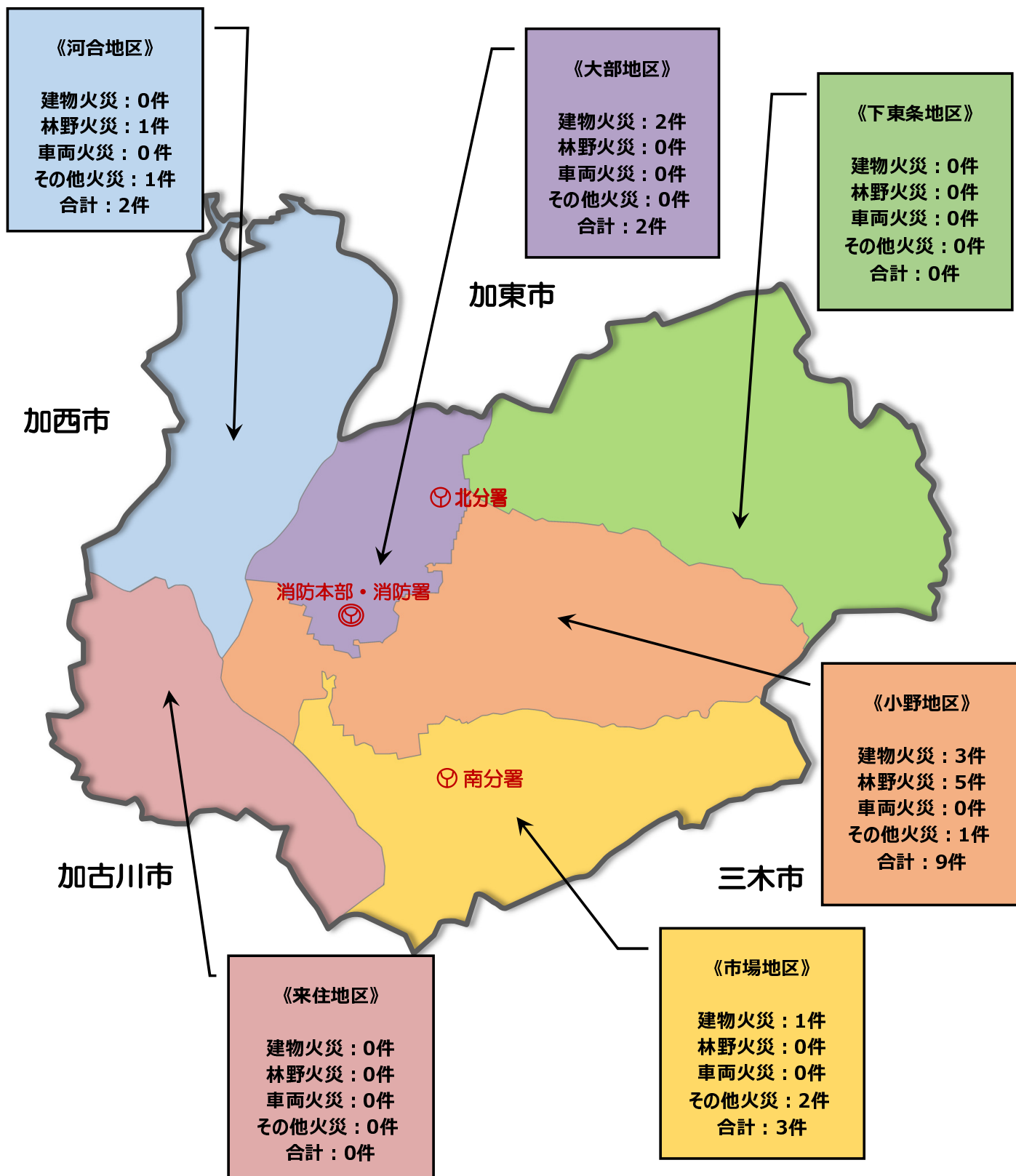
地区別火災発生状況



地区別火災損害額状況



地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

基準水利

(令和4年3月31日現在)

防火水槽	消火栓	合計
509	1,355	1,864

過去10年間の降雨量

(単位:mm)

月別 年別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計	年間平均
平成24年	27.0	80.5	141.5	118.0	37.5	229.5	216.0	53.0	145.0	77.0	91.5	94.5	1,311.0	109.3
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7
平成27年	97.5	22.0	123.5	107.5	85.0	156.0	335.5	193.5	172.0	46.5	139.0	123.5	1,601.5	133.5
平成28年	46.5	72.0	71.5	160.5	108.5	257.5	102.5	86.0	357.0	53.5	68.5	88.0	1,472.0	122.7
平成29年	27.0	37.5	38.0	125.0	57.5	146.0	75.0	75.0	142.5	399.0	32.0	28.0	1,182.5	98.5
平成30年	39.0	32.0	180.5	92.5	169.5	168.0	366.5	125.5	332.0	54.0	9.5	68.5	1,637.5	136.5
令和元年	18.5	43.5	79.0	116.0	71.0	129.0	104.0	161.5	49.5	159.5	11.5	45.5	988.5	82.4
令和2年	46.0	48.5	85.0	148.0	65.0	208.0	301.5	0.0	123.5	90.5	35.5	14.0	1,165.5	97.1
令和3年	52.0	42.0	95.0	112.5	166.5	137.5	208.5	253.0	152.5	44.0	79.0	34.0	1,376.5	114.7

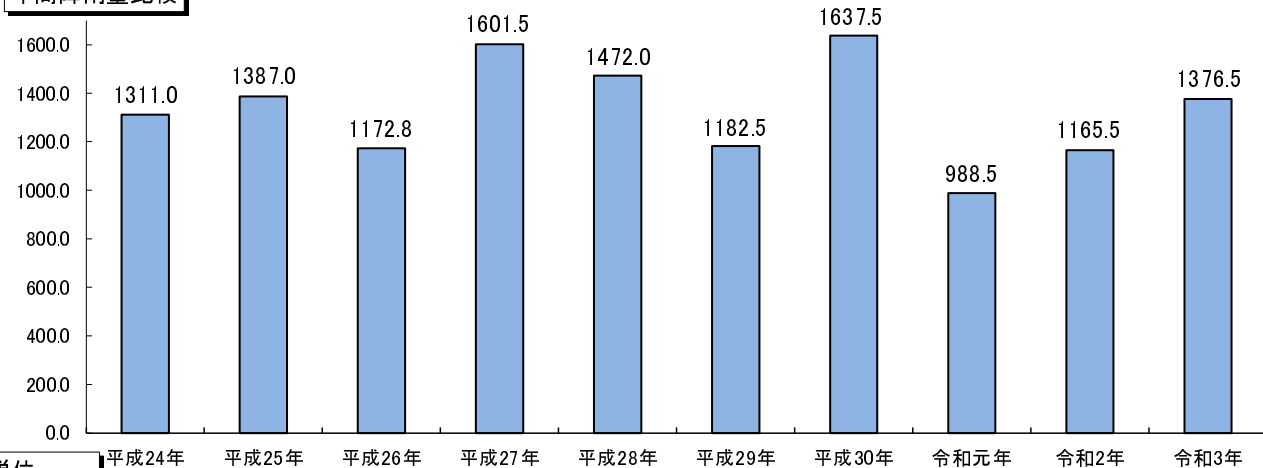


は各年の最低降雨月を示す。



は各年の最高降雨月を示す。

年間降雨量比較



単位:mm

消防機械器具保有状況

(令和4年3月31日現在)

No. 1

区分 品目		令和4年				令和3年	前年比
			本 署	南分署	北分署		
放水器具	65mmホース	147	79	39	29	165	-18
	50mmホース	151	85	46	20	173	-22
	40mmホース	95	63	23	9	97	-2
	ホースカー	3	1	1	1	5	-2
	ホース背負い器	15	6	5	4	13	2
	ホースバック	31	18	9	4	26	5
	普通筒先	5	4	0	1	4	1
	無反動筒先65mm	4	0	1	3	6	-2
	無反動筒先50mm	16	9	5	2	16	0
	プロジェクトガン40mm	10	6	3	1	11	-1
	クアドラフオグノズル	17	10	3	4	17	0
	槍管そう	2	1	1	0	2	0
	ロータリーノズル	0	0	0	0	0	0
	ストレートノズル	7	3	3	1	7	0
	放水砲	1	0	1	0	1	0
	放水銃	2	1	1	0	2	0
	分岐管(65→65)	5	4	1	0	4	1
	〃 (65→40)	2	1	1	0	2	0
	〃 (50→50)	10	4	3	3	10	0
	〃 (65→50)	3	2	1	0	3	0
	〃 (65・50マルチ)	8	3	2	3	7	1
	集水器(65→65)	5	2	2	1	5	0
	スタンドパイプ	5	2	2	1	6	-1
	ストップバルブ(65)	7	4	2	1	9	-2
	ストップバルブ(50)	7	5	2	0	7	0
	媒介(雄×雄)65-65	12	6	3	3	13	-1
	〃 (雄×雄)50-50	2	1	0	1	3	-1
	〃 (雌×雌)65-65	13	7	3	3	14	-1
	〃 (雌×雌)50-50	4	1	0	3	5	-1
	〃 (雌×雄)65-50	18	7	9	2	24	-6
	〃 (雌×雄)65-40	16	6	9	1	16	0
	〃 (雌×雄)50-40	16	5	9	2	16	0
	〃 (雌×雄)50-65	11	5	4	2	12	-1
	吸管結合中継金具	7	1	4	2	7	0
	ロープ式吸管結合金具	4	1	2	1	5	-1
	消火栓キー	6	3	3	0	5	1
	防火水槽キー	6	3	2	1	7	-1
	消火栓ハンドル	13	8	3	2	5	8
	丸型消火栓ハンドル	6	1	4	1	10	-4

区分 品目		令和4年				令和3年	前年比
			本 署	南分署	北分署		
放水器具	吸管スパナ	17	9	6	2	19	-2
	ちりよけ籠	8	3	3	2	9	-1
	ディスクストレナー	2	1	0	1	2	0
	ストレナー	16	7	7	2	16	0
	まくら木	14	6	5	3	15	-1
	ラインプロポーショナー	6	3	2	1	8	-2
	低発泡ノズル	7	4	2	1	7	0
	簡易発泡ノズル	1	0	1	0	1	0
	中発泡器一式	2	2	0	0	2	0
	高発泡器一式	2	1	1	0	3	-1
	排煙型高発泡装置	1	0	1	0	1	0
	エアフォーム(L)	80	0	40	40	160	-80
	アルコフォーム(L)	80	0	40	40	80	0
	A火災用泡原液(L)	160	160	0	0	200	-40
	B火災用泡原液(L)	200	200	0	0	320	-120
	ターボポンプ	2	0	0	2	1	1
	可搬式動力ポンプ(B-3級)	0	0	0	0	0	0
	可搬式動力ポンプ(B-2級)	1	1	0	0	1	0
	可搬式動力ポンプ(C-1級)	2	0	1	1	2	0
	高圧ポンプ	0	0	0	0	0	0
	背負い式消火水のう	28	13	10	5	33	-5
照明器具	ウォーターチャージャー	3	1	2	0	3	0
	ホースブリッジ	27	18	7	2	29	-2
	ホース応急バンド	37	21	9	7	26	11
	投光器(三脚付)	9	5	3	1	9	0
	水中ライト	14	9	5	0	17	-3
	信号器付灯光器用発電機	1	1	0	0	1	0
	信号器付投光器三脚	2	2	0	0	2	0
	信号器付投光器	2	2	0	0	2	0
	合図灯	34	19	9	6	39	-5
	発電機	7	4	2	1	7	0
作業器具	LEDライト	20	12	2	6	20	0
	日光ライト	11	6	3	2	11	0
	コードリール	20	12	7	1	22	-2
	とび口	25	16	7	2	25	0
	バール	19	11	6	2	20	-1
	斧	4	2	1	1	4	0
	剣先スコップ	8	6	1	1	6	2
	かけや	4	2	1	1	4	0
	鉄ハンマー	5	3	1	1	5	0
	万能斧	21	13	6	2	26	-5
	ボルトクリッパー	11	5	4	2	12	-1
	パイプレンチ	4	4	0	0	2	2
	防火用具一式	2	0	1	1	3	-1

区分 品目		令和4年				令和3年	前年比
			本 署	南分署	北分署		
作業器具	鋸	7	7	0	0	6	1
	ナタ	1	1	0	0	2	-1
	カマ	8	8	0	0	4	4
	電気ドリル	1	1	0	0	1	0
	アーク溶接機	2	1	1	0	2	0
	ガス溶断器	1	0	1	0	1	0
	グラインダー	1	0	1	0	1	0
	ディスクグラインダー	2	1	1	0	2	0
	ガレージジャッキ	3	1	1	1	3	0
	充電機	4	1	2	1	4	0
	コンプレッサー	2	0	1	1	2	0
	チェーンブロック	1	1	0	0	1	0
	整備工具	4	2	1	1	4	0
	万力	2	1	1	0	2	0
	脚立	11	5	4	2	11	0
	緊急用防災器具	1	1	0	0	1	0
一般救助器具	鉤付はしご	6	4	1	1	5	1
	二連梯子	0	0	0	0	0	0
	三連梯子	7	3	2	2	6	1
	ワイヤー梯子	1	1	0	0	1	0
	空気式救助マット	1	1	0	0	1	0
	シットハーネス	10	10	0	0	13	-3
	エバックハーネス	1	1	0	0	1	0
	サバイバースリング	2	2	0	0	2	0
	バスケット担架	4	3	1	0	4	0
	吊り下げベルト	3	2	1	0	3	0
	縛帯	3	2	1	0	2	1
	簡易縛帯	2	1	1	0	3	-1
	平担架	3	2	1	0	3	0
	スケッドストレッチャー	1	1	0	0	1	0
	エッジローラー	2	2	0	0	2	0
	エッジプロテクター	1	1	0	0	1	0
	エイト環	5	3	2	0	5	0
	マンホール救助器具	0	0	0	0	0	0
	ベルトスリング	16	15	1	0	17	-1
	ステップチョーク	2	2	0	0	2	0
	ウェッジ	8	8	0	0	8	0
	ロックブロック	6	6	0	0	6	0
	ジャッキ敷板	10	10	0	0	13	-3
	アリゾナボーテックス	1	1	0	0	1	0
	電動コンビツール	2	1	0	1	1	1
	油圧ホース 5m	4	4	0	0	4	0
	張力計	3	3	0	0	3	0

区分 品目		令和4年				令和3年	前年比
		本 署	南分署	北分署			
重量物排除器具	チルホールー式	5	4	1	0	5	0
	ポートパワー	1	1	0	0	1	0
	プランジャーラム	1	1	0	0	1	0
	スプレッダー	2	2	0	0	2	0
	ハンドポンプ	1	1	0	0	1	0
	リフトバック	5	5	0	0	5	0
	ゴージャック	4	4	0	0	4	0
	ラムサポート	0	0	0	0	0	0
	エンジン式油圧ポンプ	2	2	0	0	2	0
	ホースリール	1	1	0	0	1	0
切断器具	エンジンカッター	5	3	1	1	5	0
	チェンソー	9	4	4	1	8	1
	アークエアー	1	1	0	0	1	0
	油圧カッター	2	2	0	0	2	0
	油圧ミニカッター	1	1	0	0	1	0
	ペダルカッター	0	0	0	0	0	0
	充電式電動レシプロソー	1	1	0	0	1	0
	フットポンプ	0	0	0	0	0	0
	空気鋸	1	1	0	0	1	0
	電動ソー	1	1	0	0	1	0
破壊器具	救助はさみ	5	3	0	2	5	0
	削岩機	1	1	0	0	2	-1
	ストライカー	1	1	0	0	2	-1
	ハンマードリル	1	1	0	0	1	0
	電動ハンマードリル	2	2	0	0	2	0
	エンジン式ハンマードリル	0	0	0	0	0	0
測定器具	ウインドポンチ	5	2	2	1	5	0
	火災原因調査用品	4	1	2	1	5	-1
	熱画像直視装置	4	2	1	1	4	0
	非接触温度計	4	1	0	3	3	1
	可燃性ガス測定器	2	1	1	0	2	0
	有毒ガス測定器	2	2	0	0	2	0
	放射能測定器	1	1	0	0	1	0
	放射線量計	6	5	0	1	5	1
保安器具	検電器	4	4	0	0	2	2
	空気呼吸器	22	14	4	4	30	-8
	酸素呼吸器	6	5	1	0	10	-4
	酸素呼吸器用ボンベ	5	5	0	0	21	-16
	簡易呼吸器	2	2	0	0	2	0
	テンペストブロアー	1	1	0	0	2	-1
	送排風機	2	1	1	0	2	0
	耐電服	4	4	0	0	4	0
	耐電ブーツ	4	4	0	0	5	-1

区分 品目		令和4年				令和3年	前年比
			本 署	南分署	北分署		
保安器具	耐電手袋	10	7	2	1	16	-6
	夜光チョッキ(LED)	36	18	11	7	38	-2
	エアバックカバー	4	2	1	1	4	0
	安全帯	29	22	4	3	30	-1
	携帯警報器	18	10	4	4	18	0
	耐熱服	9	9	0	0	11	-2
	防毒服	5	0	5	0	5	0
	化学防護服	18	8	10	0	12	6
	放射線防護服	2	2	0	0	2	0
	防毒マスク	8	5	3	0	17	-9
水難器具	救命用ボート	3	2	1	0	3	0
	船外機	3	2	1	0	3	0
	救命浮輪	5	3	2	0	5	0
	スローバック	5	3	0	2	5	0
	救命胴衣	99	79	18	2	114	-15
	救命索発射銃	2	1	1	0	2	0
	レスキューMAX	1	1	0	0	1	0
	ファイバースコープ	1	1	0	0	1	0
	ウェットスーツ・3点セット	17	17	0	0	17	0
	ドライスーツ	10	10	0	0	7	3
	BCジャケット・レギュレーター	8	8	0	0	10	-2
	ジャックナイフ	8	8	0	0	8	0
	メタリコンタンク	12	12	0	0	12	0
	魚群探知器	1	1	0	0	1	0
その他の器具	山岳救助資機材一式	1	1	0	0	1	0
	誘導避難確認セット	16	1	15	0	16	0
	B対応セット	18	18	0	0	18	0
	応急処置用セット	1	1	0	0	1	0
	緩降機	1	1	0	0	1	0
	ロールグリス	1	1	0	0	1	0
	エスケープテックシステム	5	5	0	0	5	0
	火花遮断シート	0	0	0	0	1	-1
	防水シート	6	5	0	1	6	0
	ロープ登降機	0	0	0	0	0	0
	ホース洗浄器	2	1	1	0	2	0
	矢印表示板	4	2	1	1	7	-3
	折り畳み式コーン	16	8	6	2	16	0
	携帯拡声器	11	6	2	3	15	-4
	ブースターケーブル	7	6	0	1	8	-1
	布水槽	1	0	1	0	1	0
	オイルフェンス	5	3	2	0	5	0
	油吸着マット(枚)	146	91	43	12	139	7
	訓練用マット	6	6	0	0	7	-1
	訓練用ネット	0	0	0	0	1	-1

消防車両一覧表

(令和4年3月31日現在)

種 別		車 名	型 式	年式	排気量 (ℓ)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日
消 防 本 部 (消 防 署)	化学車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H29	6.40	220	11,370	A－2級	おのしょう1	平成29年3月
	ポンプ 積載車	日産	PKG-SZ5F24	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B－2級積載	おのしょう3	平成23年9月
	先端屈折式 はしご付消防自動車	日野	QDG-PR1APEF	H28	8.86	380	20,000		おのしょう4	平成28年4月
	救助工作車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,290		おのしょう5	平成27年2月
	資機材搬送車	いすゞ	PB-NPS81AR	H16	4.77	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年5月
	軽四資機材 搬送車	三菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年7月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H29	2.69	151	3,195		おのしょう90	平成29年3月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう92	平成22年2月
	水槽車	日野	QDG-FR1APEA	H28	8.86	380	21,905	A－2級	おのしょう31	平成28年9月
広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		-	平成10年7月	
南 分 署	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
	タンク車 (水Ⅱ型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A－1級 小型ポンプ C－1級積載	おのしょう30	平成17年1月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう93	平成24年3月
北 分 署	高規格救急車	トヨタ	3BF-TRH226S	R3	2.69	151	3,215		おのしょう91	令和3年1月
	タンク車 (水Ⅰ-A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A－2級 小型ポンプ C－1級積載	おのしょう2	平成20年2月

消防署出動状況

令和3年

出動種別 区分	火災	救急業務	救助業務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他	ういたずら等 火災の誤報・誤認	合計
出動回数	16	2,214	28	2	2	731	211	139	1	335	2	3,681
前年回数	24	2,136	26	1	5	640	439	15	2	340	3	3,631
出動延人員	199	6,689	280	4	24	1,919	566	358	6	1031	38	11,114
前年延人員	276	6,462	240	2	76	1,648	1,166	37	6	1005	25	10,943

※火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届け出状況

令和3年

① 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する恐れのある行為

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	50	16	9	4	3	6	8	2	5	5	16	14	138

② 煙火(がん具用煙火を除く)の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障をおよぼす恐れのある道路工事

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	9	12	3	5	5	8	5	9	4	7	10	3	80

⑥ 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者の集合する催しに際して露店等を開設する場合

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2

救急

令和3年救急概要

令和3年中の救急出場件数は2,214件、搬送人員は2,070人で、前年と比較すると、出場件数では78件増加、搬送人員では74人増加しており、市民の約23人に1人が救急車を利用したことになります。

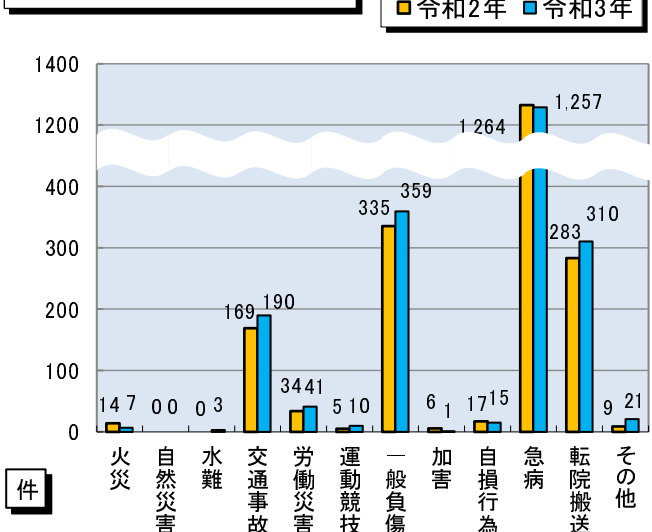
また、一日の平均出場件数は約6件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約7.1分となっています。

救急出場件数

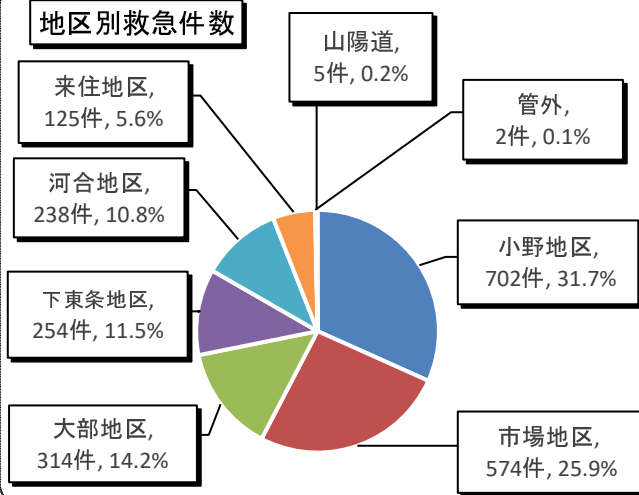
令和3年中、2,214件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,257件と半数以上を占め、全体の約57%となります。次いで、一般負傷の359件（約16%）、転院搬送の310件（約14%）、交通事故の190件（約9%）となっています。

令和2年と比較して救急件数は78件増加しました。事故種別でみると、転院搬送が27件、一般負傷が24件、交通事故が21件の増加、急病及び火災が7件の減少となっています。

事故種別救急出場件数比較



地区別救急件数

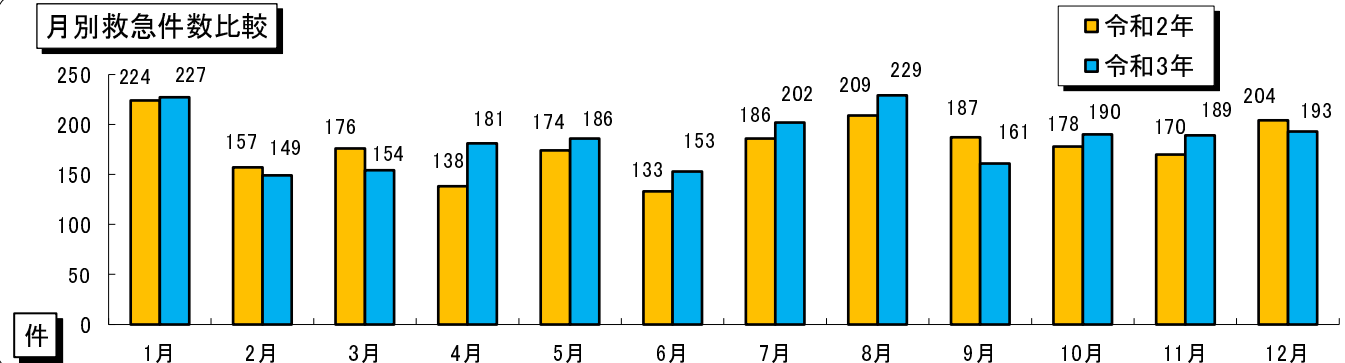


地区別救急概要

救急出場件数を地区別にみると、小野地区が702件で全体の約32%を占め、次いで市場地区が574件（26%）、大部地区が314件（約14%）、下東条地区が254件（約11%）、河合地区が238件（約11%）、来住地区が125件（約6%）、その他（山陽道・管外）が7件（約0.3%）となっています。

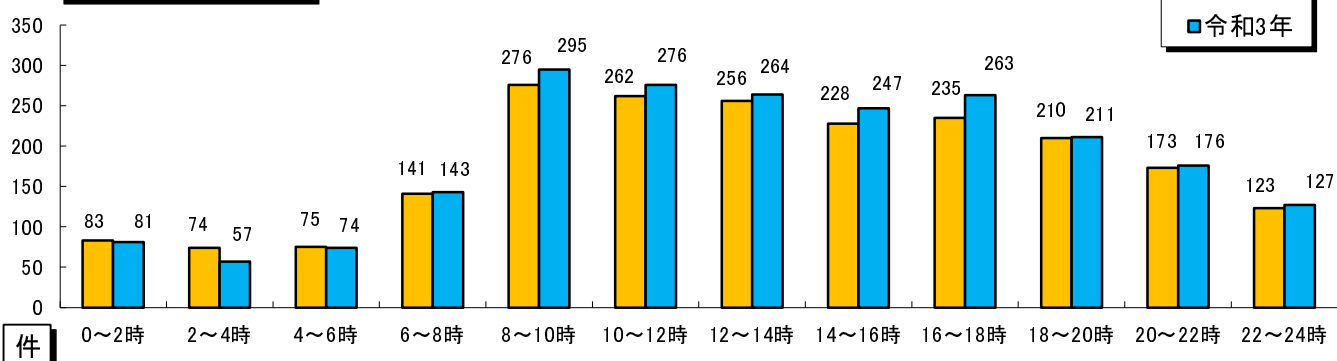
また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、8月の229件が最多で、最少は2月の149件となっており、1ヶ月平均では約185件となっています。

月別救急件数比較

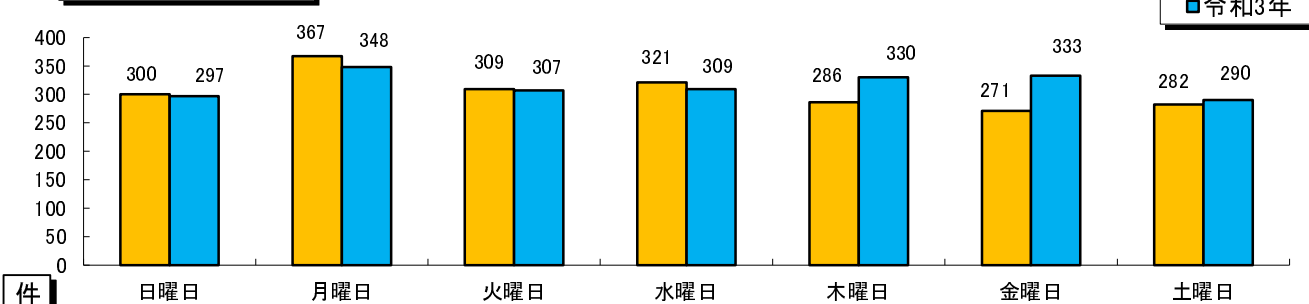


救急概要・搬送人員状況

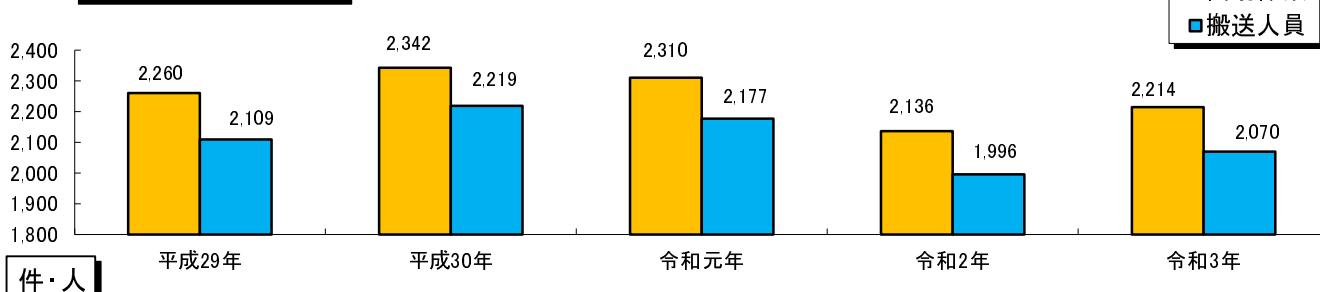
時間別救急件数比較



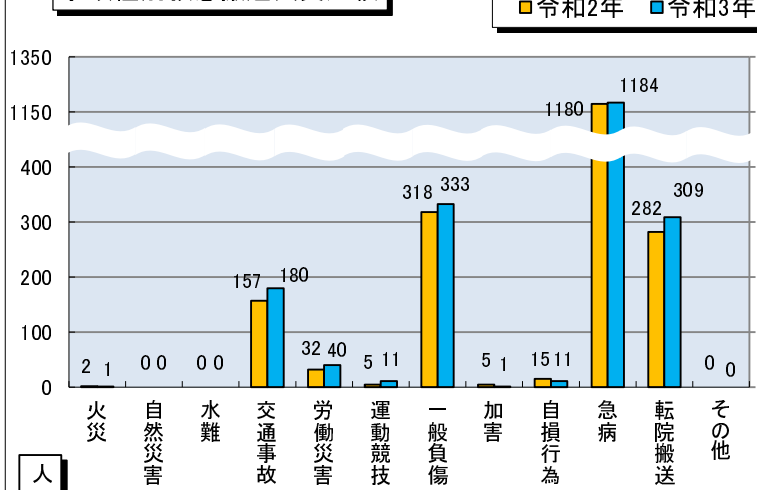
曜日別救急件数比較



過去5年間の救急状況



事故種別救急搬送人員比較



時間帯別でみると、8時～10時が出場のピークとなっており、曜日別では月曜日が最も多く出場しています。

性別をみると男性が1,070人で、女性が1,000人となっています。

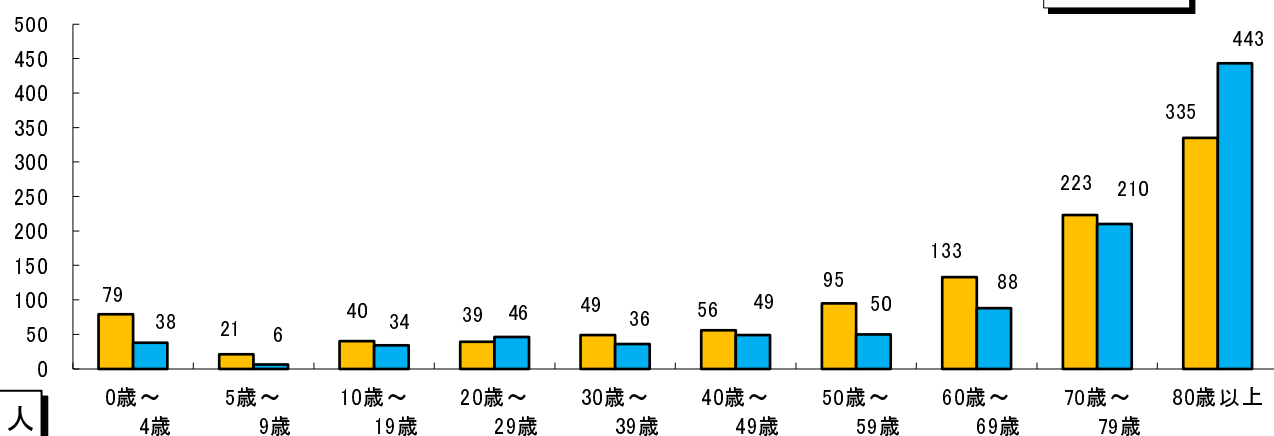
年齢別にみると、65歳以上の方が1,347人で全体の約65%を占めています。

年齢・性別搬送人員比較

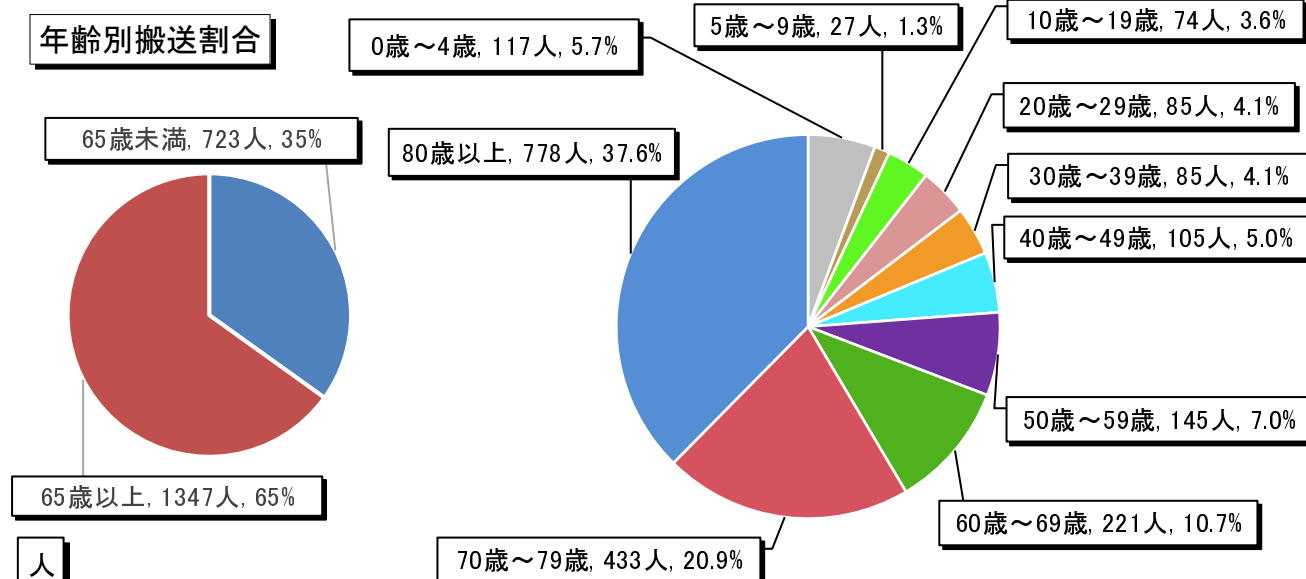
(単位：人)

性別 年齢別	令和 3 年			令和 2 年			前年比較		
	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
0歳～4歳	79	38	117	57	32	89	22	6	28
5歳～9歳	21	6	27	15	15	30	6	-9	-3
10歳～19歳	40	34	74	41	27	68	-1	7	6
20歳～29歳	39	46	85	39	49	88	0	-3	-3
30歳～39歳	49	36	85	47	53	100	2	-17	-15
40歳～49歳	56	49	105	78	45	123	-22	4	-18
50歳～59歳	95	50	145	79	53	132	16	-3	13
60歳～69歳	133	88	221	161	92	253	-28	-4	-32
70歳～79歳	223	210	433	236	178	414	-13	32	19
80歳以上	335	443	778	300	399	699	35	44	79
合 計	1,070	1,000	2,070	1,053	943	1,996	17	57	74

年齢・性別搬送人員比較



年齢別搬送割合

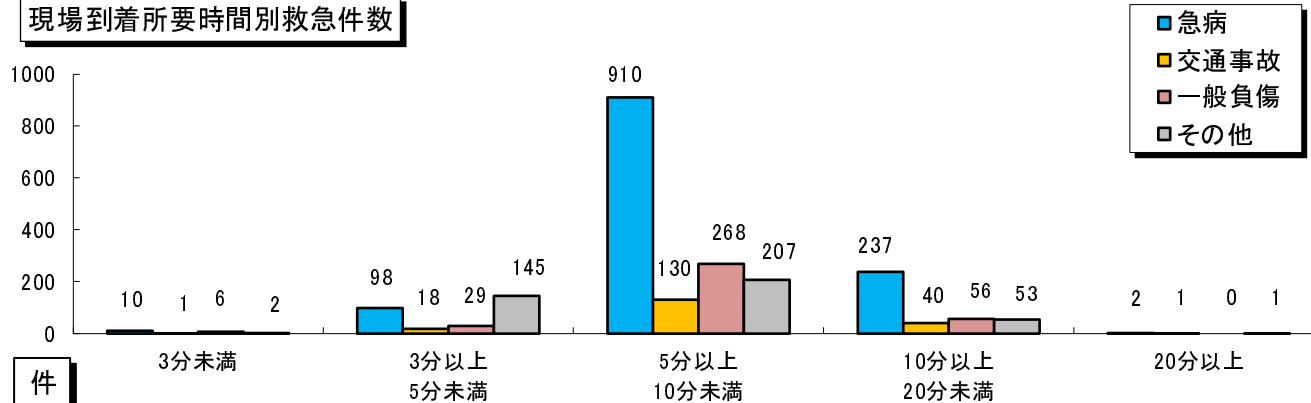


救急所要時間状況

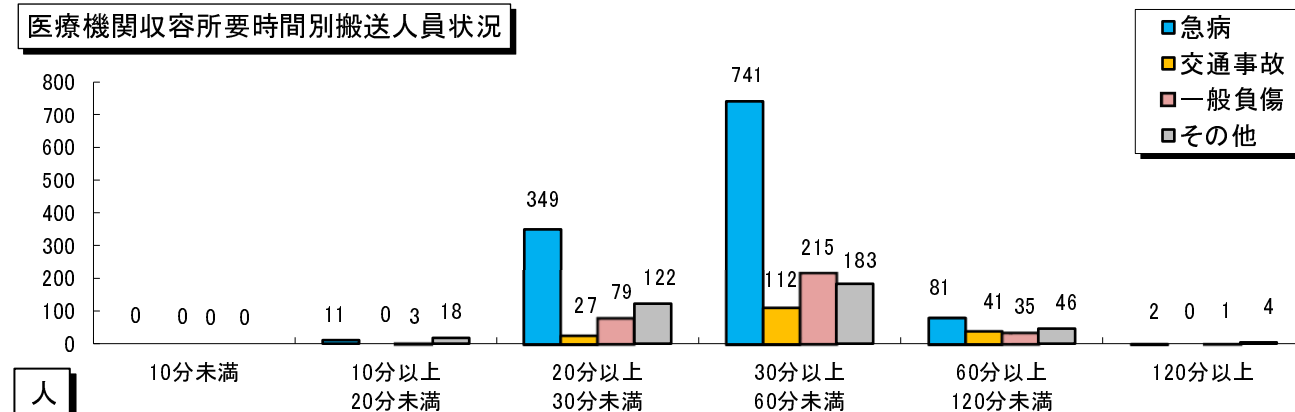
救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7.1分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約37.4分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,495人で全体の約72%を占め、次いで西脇市への180人、加古川市へ142人、神戸市へ65人となっています。

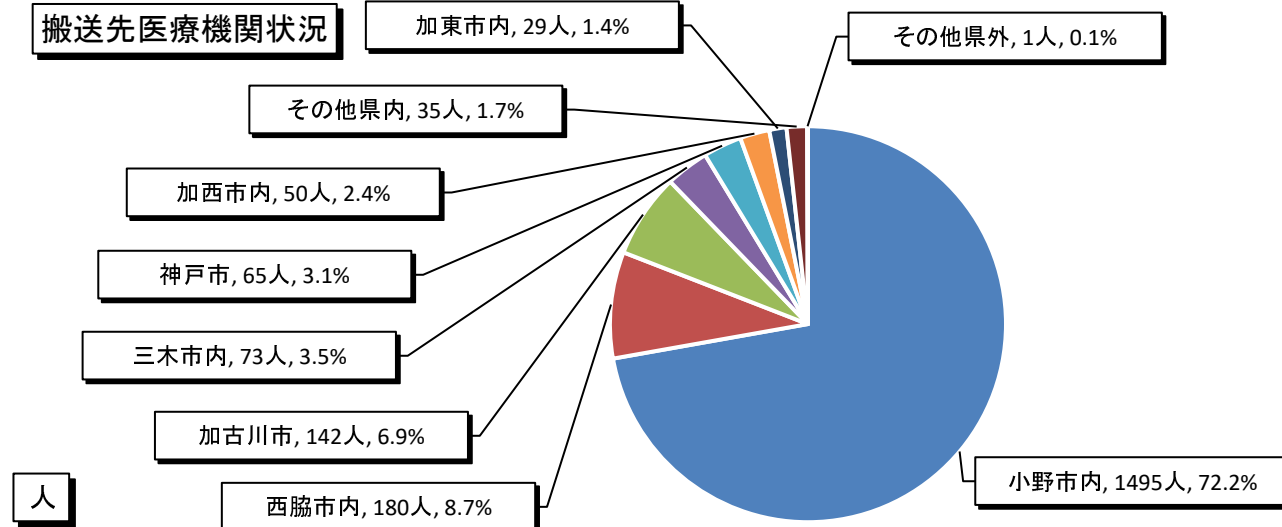
現場到着所要時間別救急件数



医療機関収容所要時間別搬送人員状況



搬送先医療機関状況



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(単位:人)

事故種別 搬送地別	救 急 事 故 種 別												合 計
	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
											転 院 搬 送	そ の 他	
小 野 市 内	0	0	0	110	30	6	214	1	7	990	137	0	1,495
三 木 市	0	0	0	3	0	0	9	0	0	23	38	0	73
加 東 市	0	0	0	0	0	0	9	0	0	6	14	0	29
西 脇 市	1	0	0	27	3	3	59	0	2	62	23	0	180
加 西 市	0	0	0	4	1	1	12	0	0	21	11	0	50
加 古 川 市	0	0	0	20	3	0	22	0	0	57	40	0	142
神 戸 市	0	0	0	11	2	1	5	0	2	15	29	0	65
そ の 他 県 内	0	0	0	5	1	0	3	0	0	10	16	0	35
県 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	1	0	0	180	40	11	333	1	11	1,184	309	0	2,070

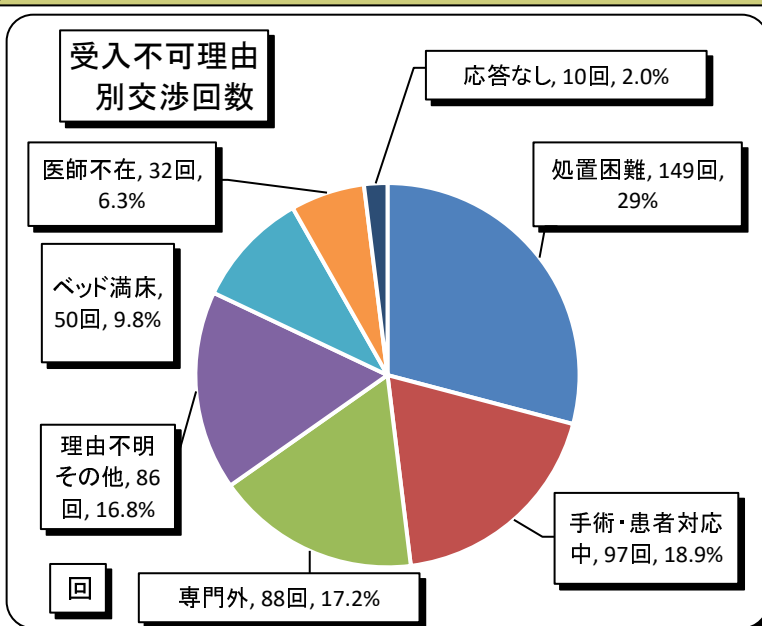
急病件数に対する過去5年間の比較

事故種別の中で最も多いのは急病です。

昨年と比較して件数は7件減少、搬送人員は4人増加しています。

区分	年別	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
急 病 件 数 (件)		1,283	1,372	1,383	1,264	1,257
全件に対する構成比		56.8%	58.6%	59.9%	59.2%	56.8%
搬 送 人 員 (人)		1,192	1,291	1,303	1,180	1,184
全搬送人員に対する構成比		56.5%	58.2%	59.9%	59.1%	57.2%

医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由



1件の救急事案で医療機関に受入交渉した回数は1.2件で、平均交渉時間は約4.9分かかっています。

また、1つの事案で9回の受入不可となったものが1件ありました。

なお、全体を通して受入不可理由の一番多いのは処置困難の149回、次いで手術・患者対応中の97回となっています。

救助

令和3年救助概要

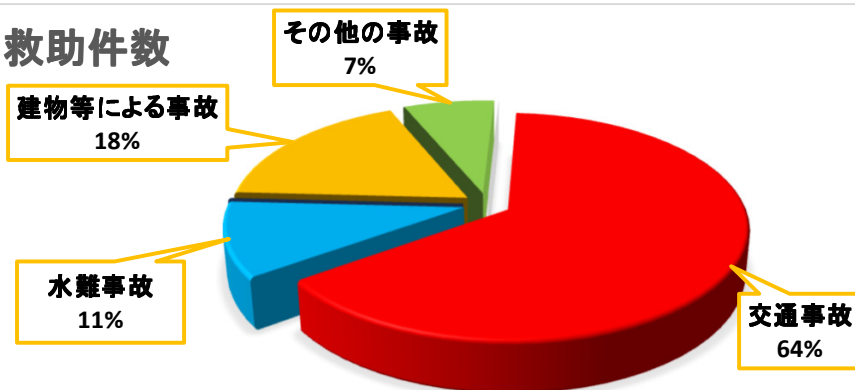
令和3年における救助活動の状況は、救助出動件数28件(対前年比2件増)、救助活動件数14件(同2件増)、このうち救助人員数(救助された人)14人(同1人増)となっています。

事故種別ごとの救助出動件数の内訳は、「交通事故」18件(同変動なし)、「建物等による事故」5件(同変動なし)、「水難事故」3件(同3件増)、「その他の事故」2件(同1件減)となっています。「火災(建物)」、「火災(建物以外)」、「機械による事故」、「ガス及び酸欠事故」は発生していません。

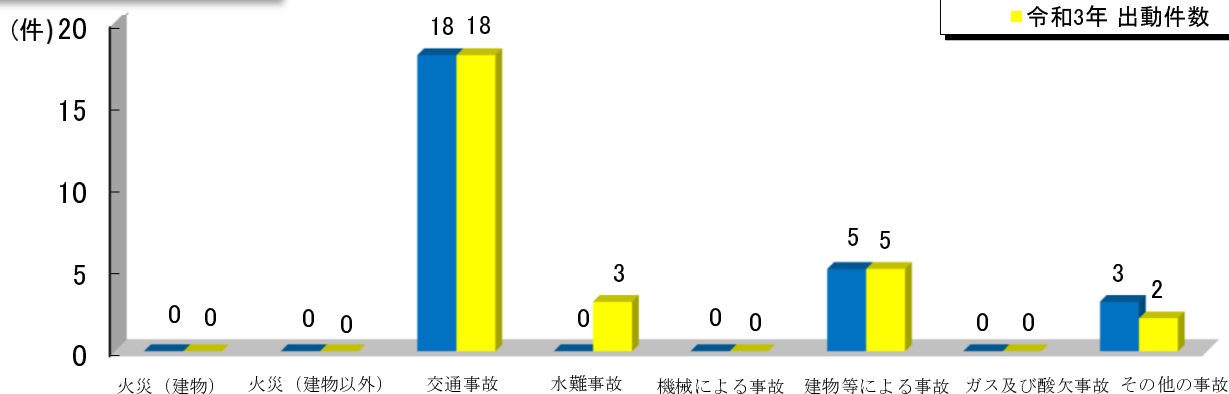
事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、多い順から、「交通事故」8件、「建物等による事故」3件、「水難事故」2件、「その他の事故」1件となっています。

区 分 事故種別	令和3年			令和2年			前年同期比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
火災(建物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災(建物以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	18	8	8	18	7	8	0	1	0
水難事故	3	2	2	0	0	0	3	2	2
機械による事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物等による事故	5	3	3	5	3	3	0	0	0
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故	2	1	1	3	2	2	-1	-1	-1
合 計	28	14	14	26	12	13	2	2	1

事故種別救助件数



救助出動事故種別比較



救助状況前年比較

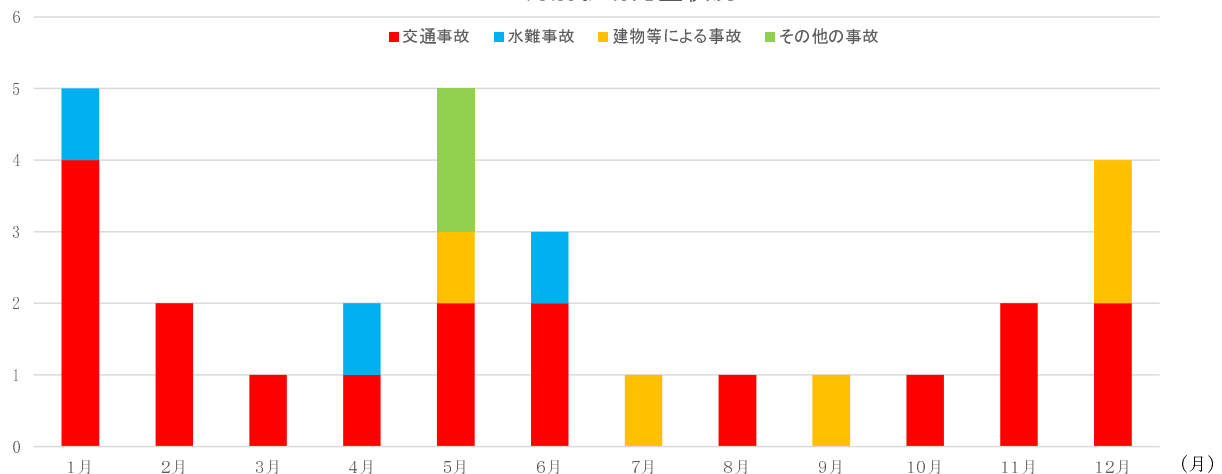
区 分		令和3年				令和2年				前年比較			
		本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
救 助 件 数 (件)	合 計	3	15	10	28	6	11	9	26	-3	4	1	2
	火災(建物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火災(建物以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	交通事故	1	8	9	18	3	7	8	18	-2	1	1	0
	水難事故	1	2	0	3	0	0	0	0	1	2	0	3
	機械による事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物等による事故	0	4	1	5	1	3	1	5	-1	1	0	0
	ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の事故	1	1	0	2	2	1	0	3	-1	0	0	-1
要救助者数 (人)		1	8	5	14	4	6	3	13	-3	2	2	1
出 動 人 員 (人)		27	144	109	280	47	108	85	240	-20	36	24	40

月別救助発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救 助 件 数 (件)	火災(建物)													0
	火災(建物以外)													0
	交通事故	4	2	1	1	2	2		1		1	2	2	18
	水難事故	1			1		1							3
	機械による事故													0
	建物等による事故					1		1		1			2	5
	ガス及び酸欠事故													0
	その他の事故					2								2
	合計	5	2	1	2	5	3	1	1	1	1	2	4	28

(件数)

月別救助発生状況



時間別救助発生状況

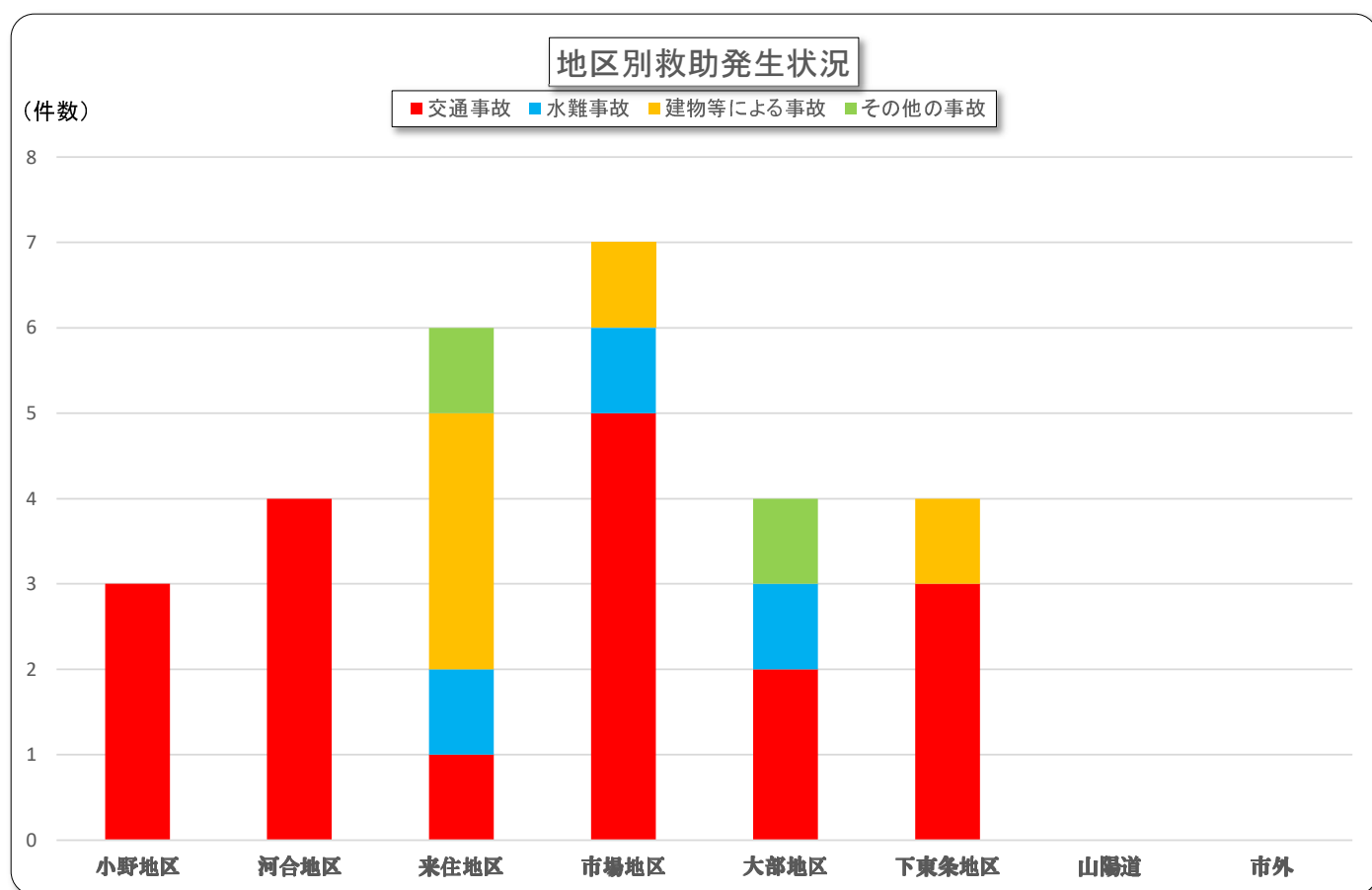
月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	救助種別							合計	
	火災 建物	火災 建物以外	交通	水難	機械	建物	ガス	その他													
0時～1時																				0	
1時～2時																				0	
2時～3時																				0	
3時～4時																				0	
4時～5時																				0	
5時～6時																				0	
6時～7時																				0	
7時～8時	1	1												2						2	
8時～9時					1				1							1		1		2	
9時～10時	1					1				1	1	1		4	1					5	
10時～11時	1	1												2						2	
11時～12時	1					1						1		3						3	
12時～13時					2									1				1		2	
13時～14時				1	1							1		1		2				3	
14時～15時																				0	
15時～16時	1													1						1	
16時～17時																				0	
17時～18時			1		1									2						2	
18時～19時						1								1						1	
19時～20時											1	1		1		1				2	
20時～21時								1						1						1	
21時～22時							1									1				1	
22時～23時				1										1						1	
23時～24時																				0	
不 明																				0	
合 計	5	2	1	2	5	3	1	1	1	1	2	4	0	0	18	3	0	5	0	2	28

曜日別救助発生状況

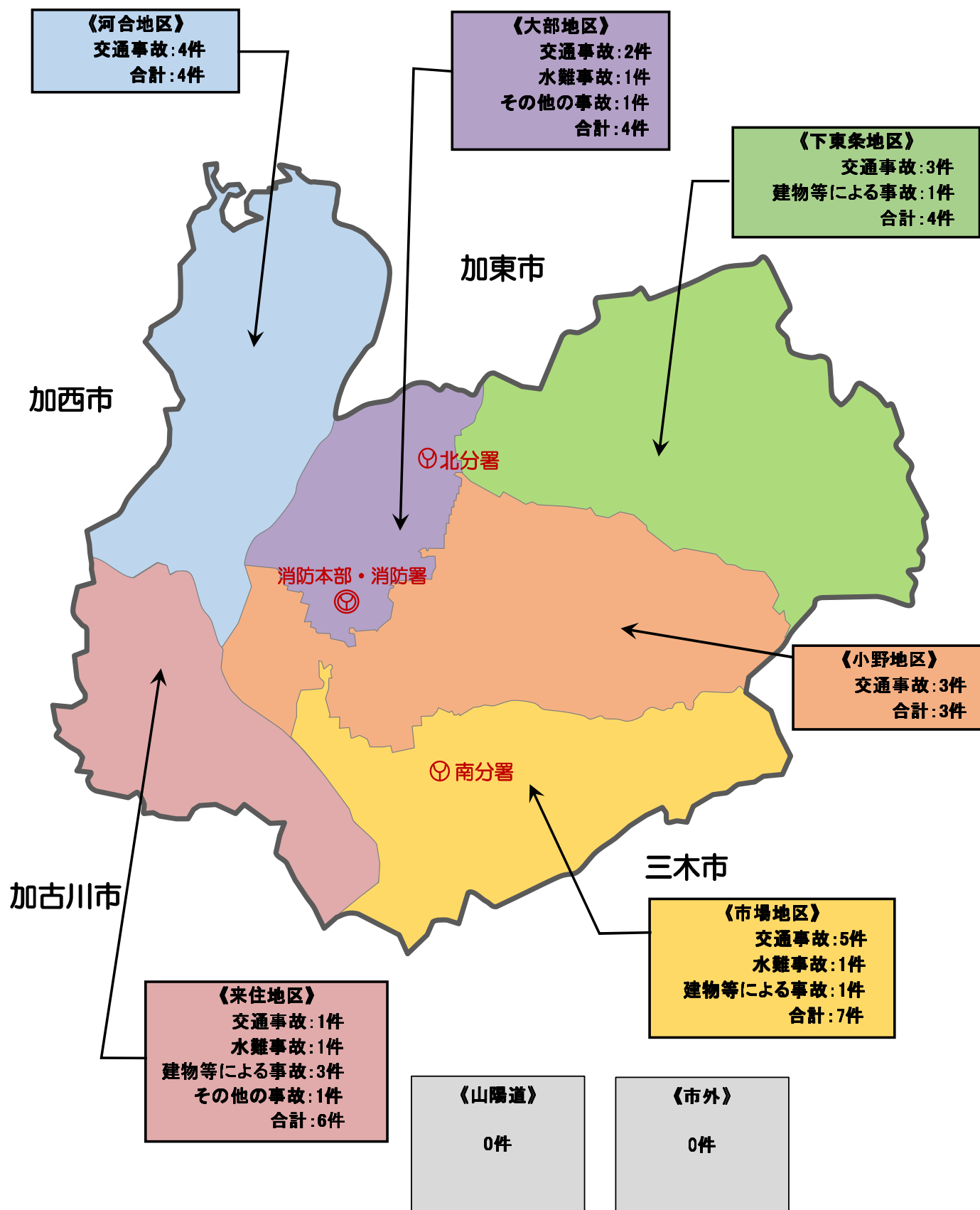
月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	救助種別							合計	
													火災 建物	火災 建物以外	交通	水難	機械	建物	ガス		その他
日曜日		1			1										1			1			2
月曜日					1	1					1	1			1	1		1		1	4
火曜日	1				1	1									2					1	3
水曜日	1		1	1	1					1		1			5	1					6
木曜日		1			1	1									3						3
金曜日	2			1			1	1	1			2			4	1		3			8
土曜日	1										1				2						2
不 明																					0
合 計	5	2	1	2	5	3	1	1	1	1	2	4	0	0	18	3	0	5	0	2	28

地区別救助発生状況

種 別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	山陽道	市外	合 計
火災(建物)									0
火災(建物以外)									0
交通事故	3	4	1	5	2	3			18
水難事故			1	1	1				3
機械による事故									0
建物等による事故			3	1		1			5
ガス及び酸欠事故									0
その他の事故			1		1				2
件数合計	3	4	6	7	4	4	0	0	28

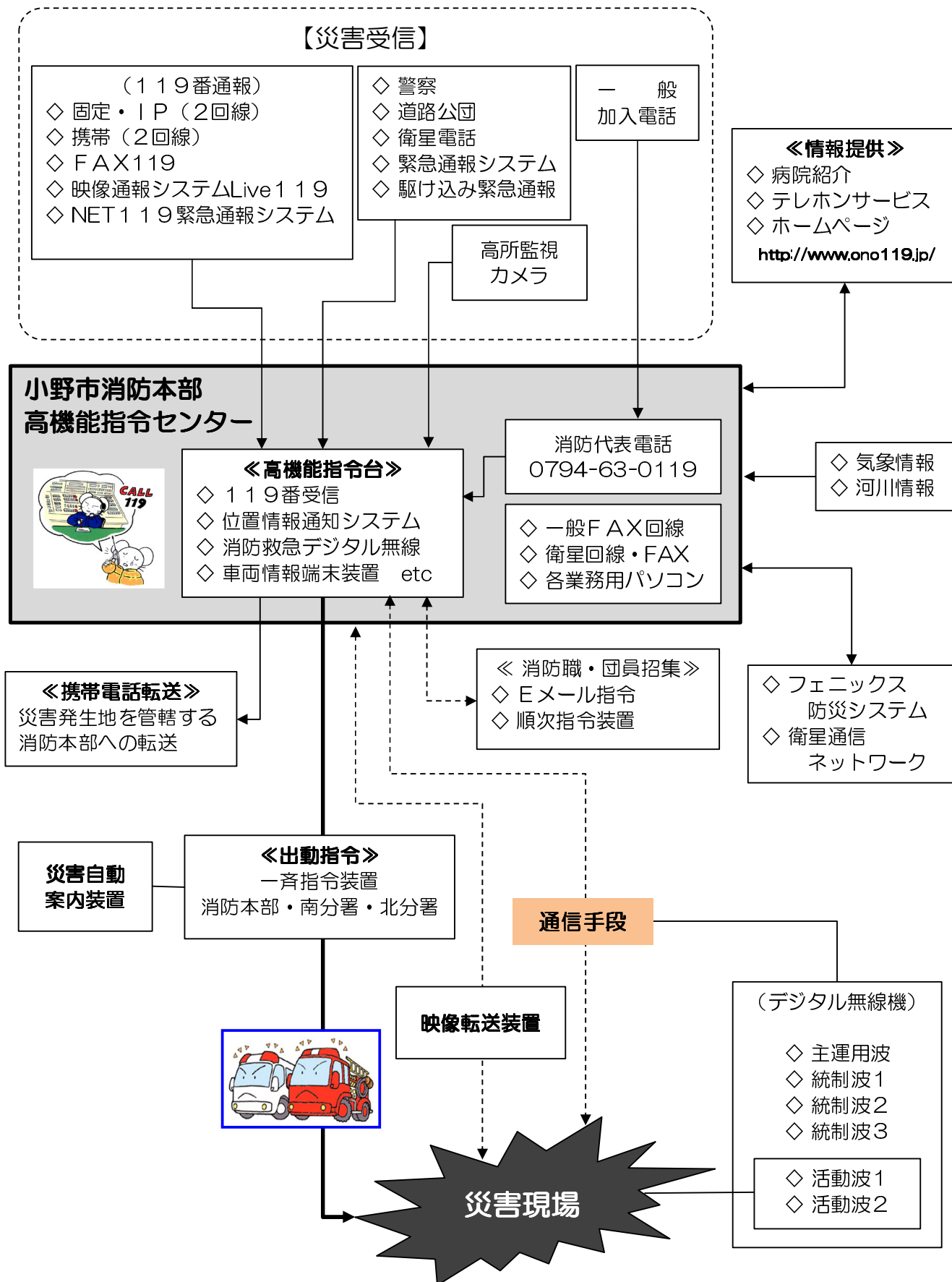


地区別救助発生状況全体図



指令

消防通信系統図



119番通報状況

令和3年中の総受信件数は、6,207件で前年(6,454件)より247件の減少で、1日平均17件となり、市民約7.7人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災16件(0.26%)、救急2,140件(34.48%)、救助28件(0.45%)、警戒96件(1.55%)となっており、全体の約37%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は、1,728件(約27.8%)でした。

また、いたずらや間違い等緊急性のない通報(試験の956件除く)が1,243件(約20%)でした。

分 月 別	区	災 害				試 験	いた ずら	間 違 い	(医療機関 問 い 合 せ)	そ の 他	合 計
		火 災	救 急	救 助	警 戒						
1月		1	219	5	8	101		4	137	121	596
2月		5	139	2	15	77	4	12	101	86	441
3月		2	147	1	5	76		7	121	72	431
4月			176	2	6	62	1	11	133	75	466
5月			178	5	8	75		10	174	110	560
6月		2	148	3	7	67		6	114	82	429
7月		1	201	1	4	93		17	178	82	577
8月		1	225	1	13	86	1	8	194	122	651
9月		2	157	1	9	72		11	163	108	523
10月		1	181	1	12	92	1	4	113	103	508
11月			185	2	4	82	1	3	135	84	496
12月		1	184	4	5	73	1	4	165	92	529
合計		16	2,140	28	96	956	9	97	1,728	1,137	6,207
比率(%)		0.26%	34.48%	0.45%	1.55%	15.40%	0.14%	1.56%	27.84%	18.32%	100%
前年件数		24	2,073	26	99	953	8	65	1,779	1,427	6,454
前年比		-8	67	2	-3	3	1	32	-51	-290	-247

119番による口頭指導実施状況

項目 月別	C P R	気 道 異 物 除 去	熱 傷 手 当	創 傷 手 当	指 趾 切 断 手 当	そ の 他	合 計
1月	4	0	0	8	0	1	13
2月	3	0	0	3	0	1	7
3月	1	0	2	3	0	0	6
4月	6	0	0	4	0	1	11
5月	6	0	0	1	0	2	9
6月	2	1	0	3	1	0	7
7月	5	0	0	4	0	3	12
8月	3	0	1	2	0	0	6
9月	1	0	0	3	0	1	5
10月	0	0	0	4	0	1	5
11月	3	0	0	3	0	1	7
12月	6	0	0	3	0	2	11
合計	40	1	3	41	1	13	99

情報テレホンサービス利用件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
26	28	36	27	29	29	27	38	43	27	33	59	402

※ 情報テレホンサービスでは、医療機関情報及び災害状況案内を行っている。

(1) デジタル無線設備(260MHz)

種 別 名 称	基地局	陸上移動局(携帯型)			備 考
		車載型	携帯型	卓上・可搬型	
	出力10W	出力10W	出力5W	出力10W	
活動波1	1	18	25	3 (卓上型1、 可搬型2)	統制波は3チャンネル 切替方式
活動波2					
主運用波					
統制波1					
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備(400MHz)

種別	名称	陸上移動局(携帯型)	備 考
第1波		35	第3波は兵庫県内共通波 第4波は防災相互波
第2波		35	
第3波		35	
第4波		35	

気象状況

項目 月別	風向/風速(m/s)			気温(℃)			相対湿度(%)			雨量(mm)	
	最大瞬間風速	平均風速	平均風向	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	最大時間雨量	積算雨量(月)
1月	19.1 西	1.8	西	16	-7.1	3.7	99.9	29.4	72.8	8	52
2月	17.8 西北西	2.1	北北東	18.8	-3.2	6.2	98	14.9	68.6	8.5	42
3月	17.3 北北西	2.4	北北東	21	-0.7	10.1	99.4	10.8	71.6	10	95
4月	16.1 北北東	2.4	北北東	24.9	1	13.6	99.4	10.5	65.1	6.5	112.5
5月	19.4 南	2.4	南南西	27.5	5.5	18.4	99.7	20.8	76.9	8.5	166.5
6月	12.2 北	1.9	北北東	31.1	15.4	22.5	99.4	22.5	75.7	35	137.5
7月	13.9 北北東	1.8	北北東	34.2	21.2	26.4	99.7	41.3	81.6	33.5	208.5
8月	27.8 南南西	2.4	北北東	35.7	20.6	26.6	99.7	41.3	84.3	13.5	253
9月	12.4 東	1.8	北北東	30.6	17.3	23.6	99.7	45	82.6	18.5	152.5
10月	14.6 北	1.9	静穏	30.3	5.1	18.1	99.7	37.7	77.3	6.5	44
11月	14 西南西	1.6	北北東	22.2	-0.7	11.2	99.4	32.5	77.5	10	79
12月	20 西	1.9	西	16.1	-2.9	6.3	99.7	34.1	76.5	5	34

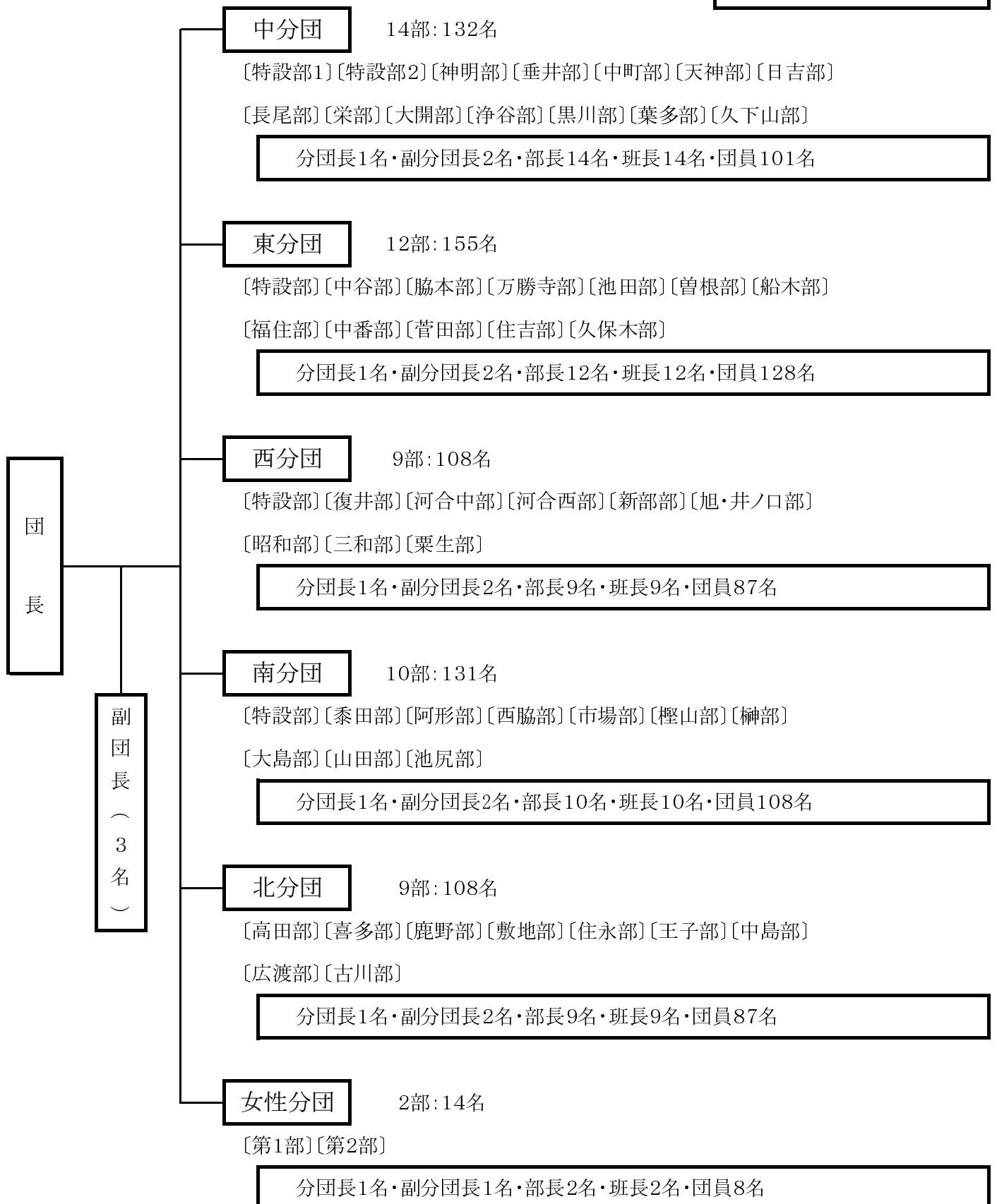
(注)小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(令和4年4月1日現在)

全56部 総数652名



令和3年度消防団行事

令和3年	4月4日	小野市消防団総合訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	4月11日	小野市消防大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため規模縮小
	6月5日	小野市消防署・消防団合同水防訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	6月22日	分団長会議	
	8月18日	小野まつり警戒(21日、22日)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	9月11日	分団長会議	
	11月7日	幹部会議	
	11月7日	実践中継訓練	
	11月9日	秋季全国火災予防運動(9日～15日)	
	11月9日	全国女性消防団員活性化大会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	11月14日	小学校区地域教育防災訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止
	12月5日	第8回小野ハーフマラソン2021警備	
	12月5日	臨時幹部会議	
	12月29日	年末警戒(29日～30日)	
令和4年	1月6日	分団長会議	
	1月26日	重要文化財防火訓練	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため規模縮小
	1～3月	火災予防特別警戒(1月～3月)	市内全域(各分団)
	1～3月	各地区消防水利点検	市内全域(各分団)
	2月6日	兵庫県女性消防団員技術研修会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響のためWEB開催
	2月18日	臨時幹部会議	
	3月1日	春季全国火災予防運動(1日～7日)	市内全域(各分団)
	3月4日	臨時分団長会議	

* 消防水利(消火栓・防火水槽)点検 年2回実施 ・各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

(令和4年4月1日現在)

組織		人 員	消防ポンプ自動車	軽四積載車	小 型 動 力 ポ ン プ
消防団		652	6	49	54
構 成 内 容	団 本 部	4	1	0	0
	中 分 団	132	2	12	14
	東 分 団	155	1	11	12
	西 分 団	108	1	8	9
	南 分 団	131	1	9	10
	北 分 団	108	0	9	9
	女 性 分 団	14	0	0	0

消防団員出動状況

(令和3年度)

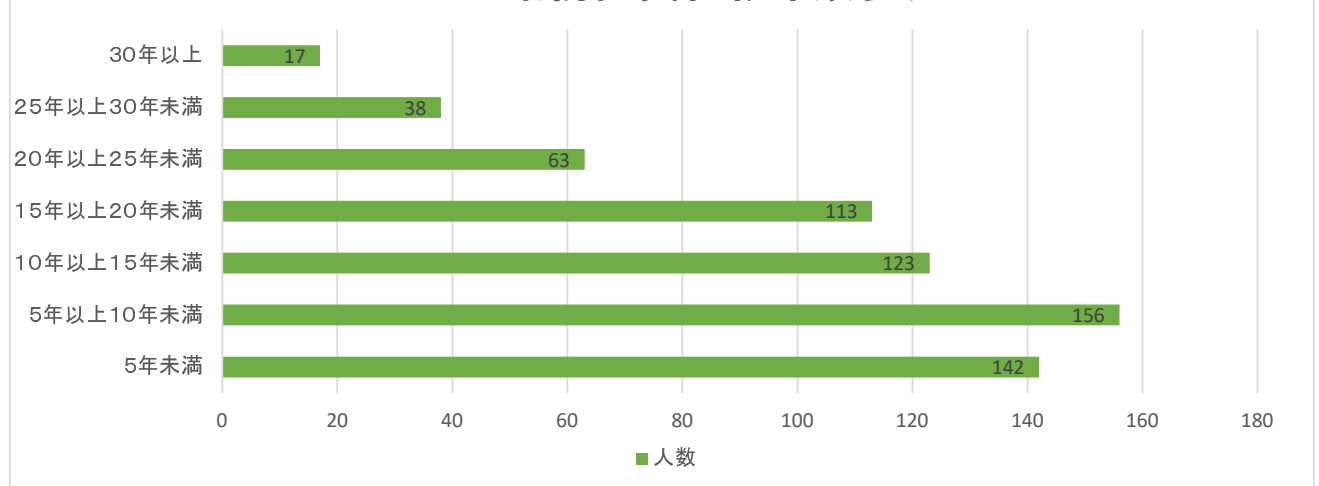
区分 出動種別	各種災害出動		演 習 訓 練	特 別 警 戒	水 利 調 査	そ の 他	う い ち た ず ら の 誤 報 ・ 誤 認	合 計
	火災・救急・救助	風水害						
出 動 回 数	7	0	7	10	65	799	0	888
前 年 出 動 回 数	7	0	8	13	115	495	0	638
出 動 延 人 員	43	0	275	903	371	5,530	0	7,122
前 年 出 動 延 人 員	168	0	321	136	1,106	6,030	0	7,761

消防団員の在職年数状況

(令和4年4月1日現在)

在 職 年 数	人数 (うち女性)
5年未満	142 (3)
5年以上10年未満	156 (3)
10年以上15年未満	123 (1)
15年以上20年未満	113 (3)
20年以上25年未満	63 (4)
25年以上30年未満	38
30年以上	17
合 計	652 (14)

消防団員在職年数状況



年齢別消防団員数

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	小計		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
		うち女性							
18歳未満	0								
18歳	0								
19歳	1	1							1
20歳	0								
21歳	2								2
22歳	3	1						1	2
23歳	2								2
24歳	6						1		5
25歳	7						1	2	4
26歳	6	1					1	1	4
27歳	6							2	4
28歳	7						1	1	5
29歳	14						6	1	7
30歳	15						3	1	11
31歳	19	1					2	2	15
32歳	28							3	25
33歳	21	1					4	4	13
34歳	27						6	2	19
35歳	46						2	2	42
36歳	33	1			1	1	1	2	28
37歳	37	1				2	4	6	25
38歳	37				1	1	4	5	26
39歳	32					1	5	1	25
40歳	37						4	3	30
41歳	25					1	4	2	18
42歳	30						4	4	22
43歳	32				1			1	30
44歳	23							2	21
45歳	31							1	30
46歳	20					1	1	1	17
47歳	21					1		3	17
48歳	17	1				2	1		14
49歳	19	1			1	1		1	16
50歳	9								9
51歳	5								5
52歳	9	1		1	1			1	6
53歳	3				1		1		1
54歳	2								2
55歳	3			1					2
56歳	3	3						1	2
57歳	4								4
58歳	0								
59歳	1			1					
60歳	1		1						
61歳	0								
62歳	0								
63歳	1								1
64歳	1	1							1
65歳以上	6								6
合 計人数	652	14	1	3	6	11	56	56	519
平均年齢	39.3	41.8	60.0	55.3	45.2	42.4	35.8	37.1	39.6

消防団員等公務災害発生状況

(令和3年度)

区 分 災害種別	階 級 別						傷病程度					
	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団員	消防作業従事者	一週間未満	一週間～二週間	二週間～一ヶ月	一ヶ月～三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
水防活動中												
消防訓練中												
特別警戒中												
その他												
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

消防団表彰状況

種 別 \ 年度別		平成29年度	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度
消防庁長官	団 体					
	個 人	1	1	1	2	2
日本消防協会	団 体			1		
	個 人	4	6	9	6	6
日本消防協会(特別)	団 体					
	個 人					
兵庫県知事	団 体					
	個 人	6	4	4	4	4
兵庫県消防協会	団 体					
	個 人	22	17	21	16	17
北播消防協議会	団 体	1	1	1	1	1
	個 人	15	15	15	15	15
小野市長	個 人	6	4	5	11	5
小野市消防団長	団 体	10	10	10	10	10
	個 人	62	50	58	41	33

消防自動車の現況

《特設部別》

(令和4年4月1日現在)

種別	分 団 別	車 番	車 種	年 式	級 別	排気量	登録年月日
消 自 防 ポ 動 ン プ 車	団本部	ポンプ車 800 そ 4428	いすゞ	平成27年	A-2	2.99	平成27年12月10日
		多機能車 800 ち 1016	日 産	令和2年	—	2.48	令和2年3月24日
	中分団特設部	800 す 9295	日 野	平成18年	A-2	4.00	平成18年3月22日
		800 そ 235	トヨタ	平成24年	A-2	4.00	平成24年11月13日
	東分団特設部	800 そ 1602	トヨタ	平成25年	A-2	4.01	平成25年11月11日
	西分団特設部	800 さ 7028	日 野	平成12年	A-2	4.89	平成12年12月12日
	南分団特設部	800 す 7970	日 野	平成17年	A-2	4.00	平成17年9月2日

《分団別》

(令和4年4月1日現在)

種別	分団別	部 別	車 番	車 種	年 式	登録年月日
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (軽 四)	中分団	神 明 部	880 あ 225	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		垂 井 部	880 あ 2568	三 菱	平成24年	平成24年9月27日
		中 町 部	880 あ 2913	三 菱	平成25年	平成25年10月8日
		天 神 部	880 あ 5448	三 菱	令和2年	令和2年9月18日
		日 吉 部	880 あ 2147	三 菱	平成23年	平成23年7月22日
		長 尾 部	880 あ 866	三 菱	平成19年	平成19年9月14日
		栄 部	880 あ 227	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		大 開 部	880 あ 2912	三 菱	平成25年	平成25年10月8日
		浄 谷 部	80 あ 2909	三 菱	平成15年	平成15年8月28日
		黒 川 部	880 あ 5140	ダイハツ	令和元年	令和元年11月18日
		葉 多 部	880 あ 3274	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		久 下 山 部	880 あ 1227	スバル	平成20年	平成20年9月8日
	東分団	中 谷 部	880 あ 865	三 菱	平成19年	平成19年9月14日
		脇 本 部	80 あ 2157	三 菱	平成12年	平成12年8月28日
		万 勝 寺 部	80 あ 2643	スバル	平成14年	平成14年8月8日
		池 田 部	880 あ 5447	三 菱	令和2年	令和2年9月18日
		曽 根 部	880 あ 5139	ダイハツ	令和元年	令和元年11月18日
		船 木 部	880 あ 5813	ダイハツ	令和3年	令和3年11月12日
		福 住 部	880 あ 518	三 菱	平成18年	平成18年8月25日
		中 番 部	80 あ 1785	スバル	平成10年	平成10年7月23日
		菅 田 部	80 あ 1970	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		住 吉 部	80 あ 1968	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		久 保 木 部	880 あ 2567	三 菱	平成24年	平成24年9月27日
	西分団	復 井 部	880 あ 4702	三 菱	平成30年	平成30年9月6日
		河 合 中 部	80 あ 2158	三 菱	平成12年	平成12年8月28日
		河 合 西 部	880 あ 3941	ダイハツ	平成28年	平成28年9月16日
		新 部	80 あ 2644	スバル	平成14年	平成14年8月8日
		旭・井ノ口部	880 あ 1825	三 菱	平成22年	平成22年7月13日
		昭 和 部	80 あ 1644	三 菱	平成9年	平成9年10月7日
		三 和 部	80 あ 3218	スズキ	平成16年	平成16年9月21日
	南分団	栗 生 部	880 あ 4703	三 菱	平成30年	平成30年9月6日
		黍 田 部	880 あ 1226	スバル	平成20年	平成20年9月8日
		阿 形 部	880 あ 5812	ダイハツ	令和3年	令和3年11月12日
		西 脇 部	80 あ 1969	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		市 場 部	80 あ 1395	スバル	平成8年	平成8年7月16日
		檜 山 部	880 あ 519	三 菱	平成18年	平成18年8月25日
		榊 部	880 あ 1824	三 菱	平成22年	平成22年7月13日
		大 島 部	880 あ 3943	ダイハツ	平成28年	平成28年9月16日
		山 田 部	880 あ 226	スズキ	平成17年	平成17年9月29日
		池 尻 部	80 あ 3219	スズキ	平成16年	平成16年9月21日
	北分団	高 田 部	80 あ 2910	三菱	平成15年	平成15年8月28日
		喜 多 部	880 あ 2148	三 菱	平成23年	平成23年7月22日
		鹿 野 部	880 あ 3273	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		敷 地 部	880 あ 1565	スバル	平成21年	平成21年9月11日
		住 永 部	880 あ 4355	ダイハツ	平成29年	平成29年10月19日
		王 子 部	880 あ 3538	三 菱	平成27年	平成27年7月23日
		中 島 部	880 あ 3537	三 菱	平成27年	平成27年7月23日
		広 渡 部	880 あ 4356	ダイハツ	平成29年	平成29年10月19日
		古 川 部	880 あ 1566	スバル	平成21年	平成21年9月11日

小野市消防本部の沿革

1954年(昭和29年)

- 12月** 6か町村(小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村)の合併により、小野市が発足
同時に『小野市連合消防団』(1,375名)を組織

1956年(昭和31年)

- 4月** 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、特設分団(分団員50名)を発足
10月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1957年(昭和32年)

- 5月** 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1960年(昭和35年)

- 4月** 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年(昭和38年)

- 4月** 榊分団を新設
10月 水槽付消防自動車を配備

1965年(昭和40年)

- 4月** 消防本部及び消防署を設置
大開分団を新設し、団員1,414名となる。
12月 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川(通称草加野)の両地区の消防行政を、小野市消防本部が受託する。

1966年(昭和41年)

- 12月** 救急自動車(A級)を配備し、救急業務を開始

1968年(昭和43年)

- 4月** 消防団員の定員を1,144名とする。
東部特設分団(小田)を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車(A2級)を配備
5月 消防ポンプ自動車(BD-1型)を受納

1970年(昭和45年)

- 2月** 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年(昭和46年)

- 4月** 化学消防自動車(I型)を配備
6月 消防庁舎新築

1972年(昭和47年)

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。
また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより
消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備

1973年(昭和48年)

- 10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年(昭和49年)

- 1月 救急自動車(B3型)を配備(更新)
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置
消防団機構は、5分団54部となる。

1975年(昭和50年)

- 3月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1977年(昭和52年)

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車(RH42VB型)の寄贈を受ける。

1979年(昭和54年)

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置(本部に親局、市内9か所に子局)を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備
消防ポンプ自動車(BD-I級)を受納

1980年(昭和55年)

- 3月 指令車を配備

1981年(昭和56年)

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
- 12月 救急車(RH45VB型)の寄贈を受ける。

1982年(昭和57年)

- 3月 消防署の車庫を増築(市役所第4庁舎)
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年(昭和58年)

- 12月 東分団特設部詰所増改築

1984年(昭和59年)

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(A1級)を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年(昭和60年)

2月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

1986年(昭和61年)

4月 消防本部に水防倉庫設置

5月 殺菌灯付ロッカー(救急用)の寄贈を受ける。

10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年(昭和62年)

6月 広報車の寄贈を受ける。

10月 救急車の寄贈を受ける。

気象観測装置整備

1988年(昭和63年)

1月 西分団に消防ポンプ自動車(BD－Ⅰ型)を配備(更新)

2月 消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を配備(更新)

3月 消防訓を制定

4月 指令車を配備(更新)

8月 小型動力ポンプ積載車を配備

11月 南分団に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を配備(更新)

1989年(平成元年)

1月 水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ－A型)を配備(更新)

8月 普通貨物自動車を配備(更新)

11月 救急車(2B型)の寄贈を受ける。

12月 中分団に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を配備(更新)

1990年(平成2年)

3月 消防緊急情報システム(Ⅰ型)を配置

1991年(平成3年)

3月 全国共通波(第1波)基地局設備整備
消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年(平成4年)

2月 南分署庁舎新築(延678.85㎡)

3月 署所端末装置及び消防無線(救急波)整備事業完了
救急自動車(2B型)の寄贈を受ける。

1993年(平成5年)

1月 河合水防倉庫新築

3月 消防庁舎改修工事完成

南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫(17.5㎡)を増築、化学消火薬剤10klを備蓄

8月 消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)の寄贈を受ける。

11月 中分団に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を配備(更新)

1994年(平成6年)

3月 準高規格救急車を配備

1995年(平成7年)

2月 東分団に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を配備(更新)

3月 消防緊急通信指令施設(地図等検索装置)整備事業完了
市町村波基地局消防無線設備を整備(更新)

12月 救助工作車(Ⅱ型)を配備

1996年(平成8年)

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始(準高規格救急自動車の更新)
県内共通波基地局消防無線設備を整備(更新)

1997年(平成9年)

3月 耐震性貯水槽飲料水兼用(100m³型)を整備

6月 査察車を配備

7月 指令車を配備(更新)

1998年(平成10年)

1月 全国共通波(第1、2波)基地局消防無線設備整備

3月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

10月 小型動力ポンプ積載車を配備(更新)
指揮広報車を配備

12月 コミュニティー消防センター(中分団特設部詰所併設)新築
南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年(平成11年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車の更新)

4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年(平成12年)

12月 西分団に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)が配備(更新)

2001年(平成13年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車を更新)

4月 消防団女性分団が発足

9月 屈折はしご自動車(20m級)を配備(更新)

2002年(平成14年)

8月 総合気象観測装置整備(更新)

9月 消防職・団員召集システム整備

2004年(平成16年)

4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。

12月 消防資機材搬送車を配備(更新)

2005年(平成17年)

- 2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
- 3月 下東条地域防災拠点施設(東分団特設部詰所)建設
- 9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2006年(平成18年)

- 3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2007年(平成19年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年(平成20年)

- 2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年(平成22年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 3月 通信指令システム更新(位置情報システム導入)
- 3月 消防庁舎耐震化
- 4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年(平成23年)

- 5月 査察車を配備(更新)
- 10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車(B2ポンプ)を配備

2012年(平成24年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 4月 消防救急デジタル無線 電波伝搬調査
- 11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2013年(平成25年)

- 1月 消防救急デジタル無線 基本・実施設計
- 3月 小野市防災センター起工
- 7月 軽四資機材積載車を配備(更新)
- 11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2014年(平成26年)

- 4月 小野市防災センター開設
- 4月 消防救急デジタル無線 整備
- 4月 臨時北部救急拠点開設

2015年(平成27年)

- 2月 救助工作車(II型)を配備(更新)
- 4月 小野市消防本部発足50周年
- 12月 総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受ける。

2016年(平成28年)

- 3月 小野市消防本部発足50周年誌「小野消防の軌跡」発刊
- 5月 35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配備(更新)
- 9月 災害対応特殊水槽車II型を配備(更新)

2017年(平成29年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(増車)
- 3月 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備(更新)

2018年(平成30年)

- 4月 北分署庁舎新築(延324㎡)
- 12月 公益財団法人日本消防協会から防災活動車の寄贈を受ける。

2019年(令和元年)

- 11月 南分署大改修工事

2020年(令和2年)

- 3月 総務省消防庁から救助資器材・小型動力ポンプ搭載多機能車の無償貸与を受ける。
- 3月 国内の新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2部勤務から3部勤務体制に移行する。
- 7月 全国に先駆けて、映像通報システム「LIVE119」の運用を開始する。

2021年(令和3年)

- 1月 高規格救急自動車を配備(更新)

消防応援協定の締結状況

(令和4年4月1日現在)

締結年月日	内 容
昭和52年2月1日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との 申し合わせ
平成20年3月5日(改)	加古川市と消防相互応援に関する協定
平成23年3月14日(改)	三木市と消防相互応援に関する協定
平成23年5月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成25年10月23日(改)	兵庫県広域消防相互応援に関する協定
平成30年4月1日(改)	山陽自動車道消防相互応援に関する協定

防火・林野庁・危険物標語

【全国統一防火標語】

おうち時間 家族で点検 火の始末

【小野市統一防火標語】

消したはず はずでは消えない 小さな火

【林野庁統一標語】

あなたです 森を火事から 守るのは

【危険物安全週間推進標語】

事故ゼロへ トライ重ねる ワンチーム

小野市防火ポスター

令和3年募集優秀作品

小学生の部



消防長賞



団長賞



防火協会長賞

一般の部



消防長賞



団長賞



防火協会長賞

令和3年版 消防年報

発行年月 令和4年7月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電話 (0794) 63-0119

FAX (0794) 63-7199

Eメール: syobo@city.ono.hyogo.jp

消防本部ホームページ: <http://www.ono119.jp/>